
湖西市
「人口ビジョン」将来展望に関する調査
結果中間報告書

平成27年9月

湖 西 市

< 目 次 >

はじめに

1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 報告書の見方について	3

第1部 結婚・妊娠・出産・子育て等に関する調査

1 回答者の属性について	4
2 結婚観について	12
3 出産・子育ての希望について	16
4 職業観について（女性のみ）	20
5 湖西市全体のことについて	21
6 自由記述	23
7 調査結果の考察	24

第2部 就職・進学に関する調査

1 回答者の属性について	26
2 今後の進路等について	28
3 自由記述	33
4 調査結果の考察	34

第3部 不動産に関する調査

1 回答者の属性について	35
2 湖西市の不動産に関することについて	35
3 自由記述	43

第4部 転出に関する調査

1 回答者の属性について	44
2 転出・転居等について	45

はじめに

1 調査の目的

まち・ひと・しごと創生に関しては、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）が制定され、平成26年12月27日に、人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（以下「国の長期ビジョン」という。）及び、今後5か年の政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

これを受けて、本市では、国の長期ビジョン及び総合戦略、さらには「静岡県まち・ひと・しごと創生長期人口ビジョン」及び「静岡県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して、本市における人口の現状と将来の展望を提示する「湖西市人口ビジョン」、及び市の実情に応じた今後5か年の目指すべき将来の方向を提示する「湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することと致しました。

将来人口の展望や目指すべき将来の方向を検討するにあたっては、まず、人口の現状分析を行い、人口に関する今後の課題を把握するとともに、今後予想される人口の変化が地域の将来にどのような影響を及ぼすかを考察することが必要となります。つぎに、地域住民の結婚・出産・子育てや、移住・定住に関する意識・希望、さらには地元就職率の動向や進路希望状況等を把握することによって、地域の実情に応じた人口の将来展望を見通すことが必要となります。

本調査は、こうした趣旨を踏まえ、特に地域住民の結婚・出産・子育てや、移住・定住に関する意識・希望、さらには地元就職率の動向や進路希望状況等を把握することを目的として、以下の4つのアンケート調査を実施したものです。

- (1) 結婚・妊娠・出産・子育て等に関する調査
- (2) 就職・進学に関する調査
- (3) 不動産に関する調査
- (4) 転出に関する調査（平成27年3月～平成27年7月までに転出された方）

2 調査の方法

(1) 結婚・妊娠・出産・子育て等に関する調査

本調査は、市内にお住いの20歳から39歳（平成27年6月1日時点）までの市民の中から3,500名を無作為に抽出し、実施しました。

調査期間は、平成27年7月24日～平成27年8月3日までで、回収率は27.1%（平成27年8月19日到着分）という結果となりました。

調査対象者	市内にお住まいの20歳～39歳までの方
母数	平成27年6月1日現在の住民基本台帳
調査件数	3,500件
抽出方法	無作為抽出法
調査方法	郵送法
回収状況	有効回収数948件 回収率27.1%

(2) 就職・進学に関する調査

本調査は、平成27年度に18歳になる市内在住の若者568名に対して実施しました。

調査期間は、平成27年7月24日～平成27年8月3日までで、回収率は25.7%（平成27年8月19日到着分）という結果となりました。

調査対象者	平成27年度に18歳（高校3年生相当）になる市内在住の若者568名
母数	平成27年6月1日現在の住民基本台帳 568件
調査件数	568件
抽出方法	全数調査
調査方法	郵送法
回収状況	有効回収数146件 回収率25.7%

(3) 不動産に関する調査

本調査は、本市内に本社・本店、営業所等のある不動産関係業者及び近隣市のマイホームセンターに展示場を持つ住宅メーカー等から、68社を抽出し、実施しました。

調査期間は、平成27年7月24日～平成27年8月3日までで、回収率は41.1%という結果（平成27年8月19日到着分）となりました。

調査対象者	本市内に本社・本店、営業所等のある不動産関係業者及び近隣市のマイホームセンターに展示場を持つ住宅メーカー等
母数	—
調査件数	68件
抽出方法	—
調査方法	郵送法
回収状況	有効回収数28件 回収率41.1%

(4) 転出に関する調査

本調査は、平成27年3月～平成27年7月までに本市を転出された方に対して、転出時に直接アンケート調査を実施したものであり、調査件数191件、うち有効回収数は188件でした。

3 報告書の見方について

(1) 計算値の四捨五入

調査結果の数値については小数点第2以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

(2) グラフ中の文章

問の文章や選択肢の文章は長いものもあるため、グラフ作成時にはこれを省略しているものがあります。

(3) 回答の合計比率

図表中のnは該当質問での回答者総数を表します。質問に対する回答は1つの場合やいくつでもよい場合（複数回答）などがありますが、複数回答の場合、合計比率は100%を超える場合があります。

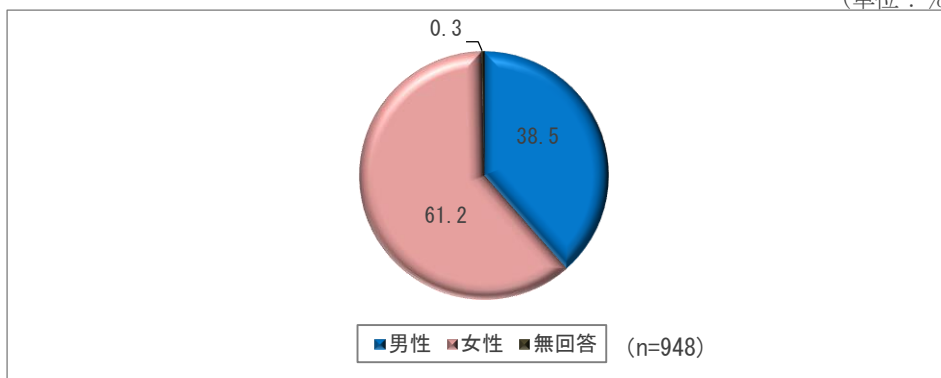
第1部

結婚・妊娠・出産・子育て等に関する調査

1 回答者の属性について

問1. あなたの性別について。

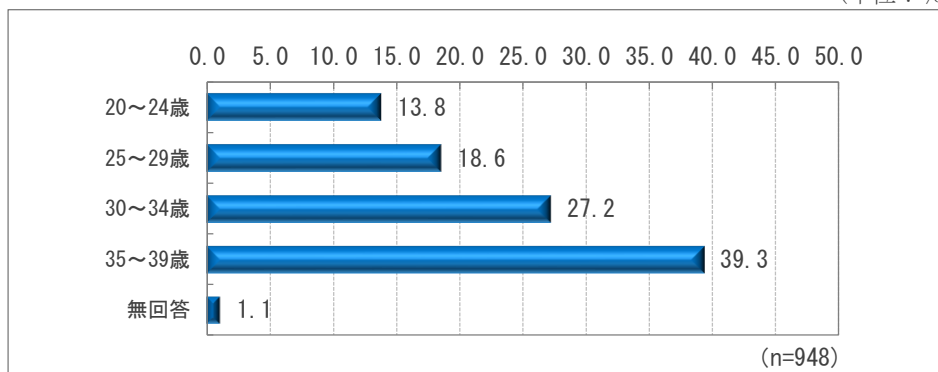
(単位：%)



回答者の総数は、948人で、性別は男性が38.5%、女性が61.2%となっています。

問2. あなたの年齢について。

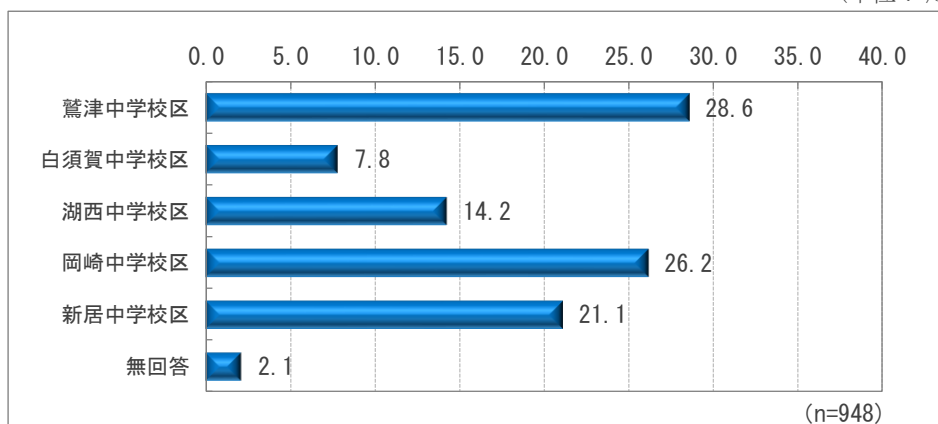
(単位：%)



回答者の年齢は、20歳代が32.4%、30歳代が66.5%となっており、30歳代の回答者が多くなっています。

問3. あなたのお住まいの地域について。

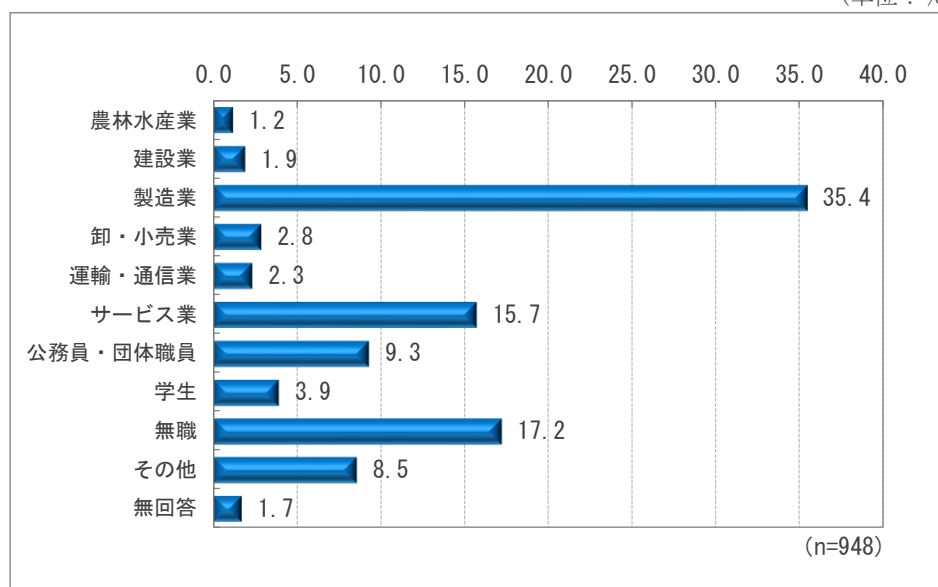
(単位：%)



回答者の居住地区では、「鷺津中学校区」が28.6%と最も多く、「岡崎中学校区」が26.2%で2番目に多くなっています。最も少ない地区は「白須賀中学校区」で7.8%となっています。

問4. あなたの職業について。

(単位：%)

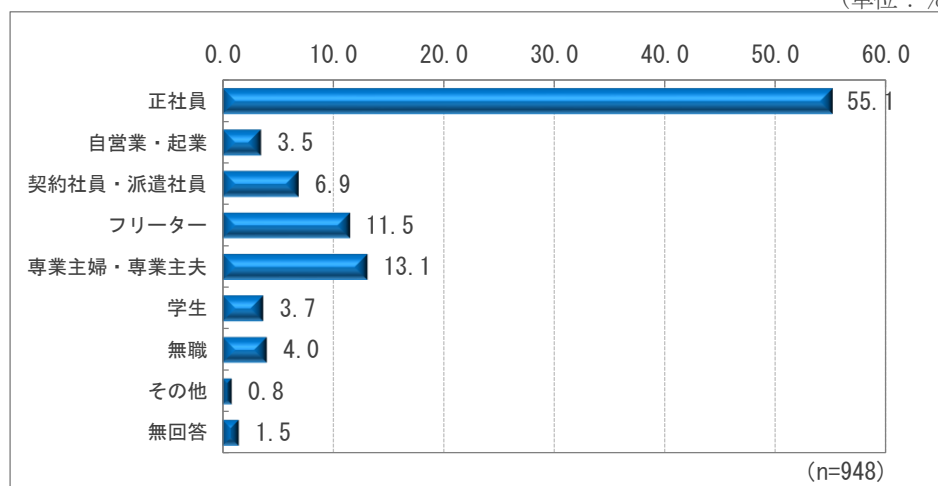


回答者の職業は「製造業」が35.4%と最も多く、「無職（専業主婦含む）」が17.2%で2番目に多くなっています。最も回答者が少なかったのは「農林水産業」で1.2%となっています。

なお、「その他」の回答では、「医療関係」「福祉関係」「保育園・幼稚園関係」「内職」と回答された方の数が多く見られました。

問5. あなたの就業形態について。

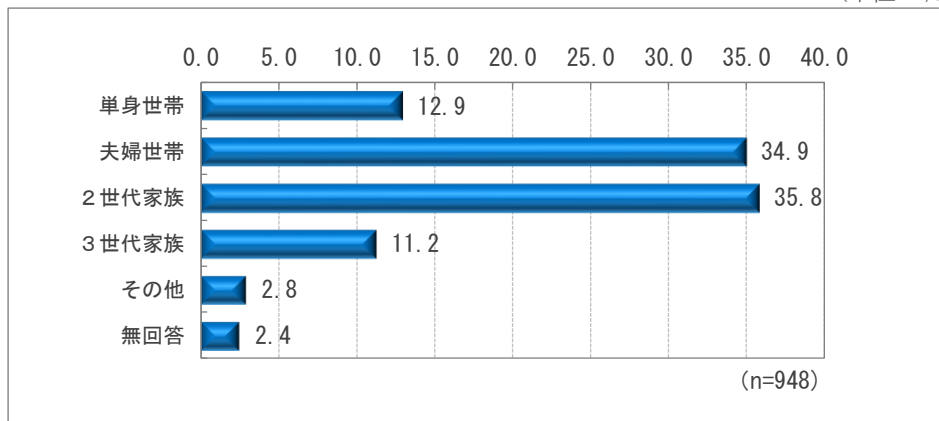
(単位：%)



回答者の就業形態は「正社員」が55.1%と最も多く、「専業主婦・専業主夫」が13.1%で2番目に多くなっています。最も回答者が少なかったのは「その他」（「準社員」「内職」と回答）で0.8%となっています。

問6. あなたの世帯形態について。

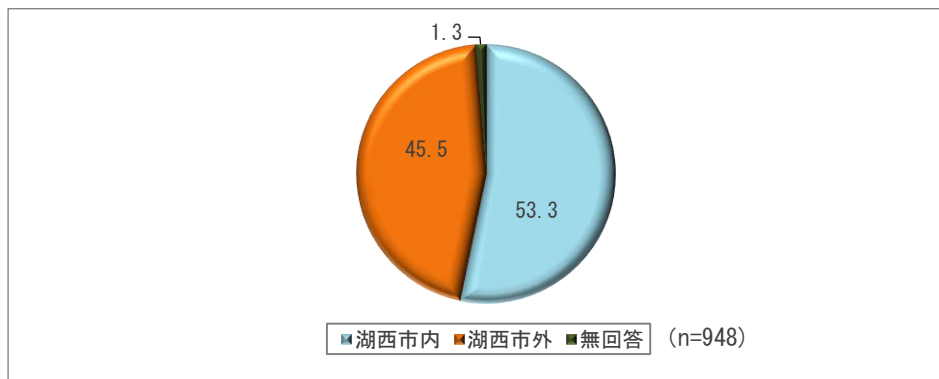
(単位：%)



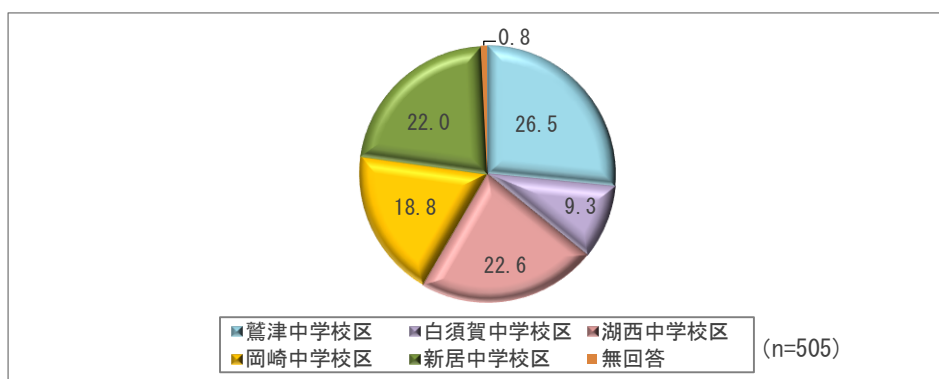
回答者の世帯形態は「2世代家族」が35.8%と最も多く、「夫婦世帯」が34.9%で2番目に多くなっています。なお、「その他」の回答では、「4世代家族」「寮」と回答された方が見られました。

問7. あなたの出生地について。

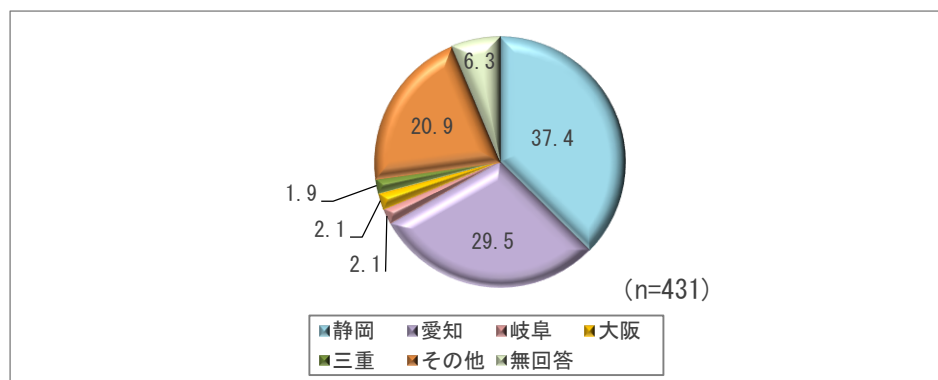
(単位：%)



回答者の出生地は「湖西市内」が53.3%、「湖西市外」が45.5%となっています。



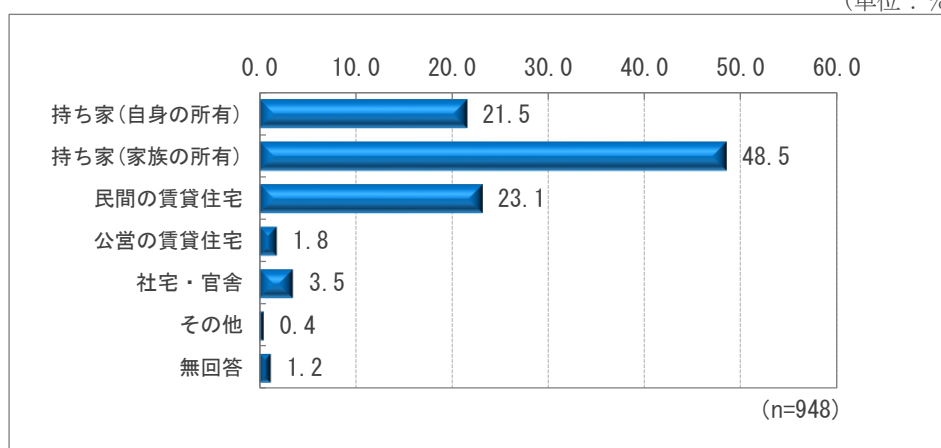
出生地が「湖西市内」と回答された方の中学校区別内訳を見ると、「鷺津中学校区」が26.5%と最も多く、「湖西中学校区」が22.0%と2番目に多くなっています。最も回答者が少なかったのは、「白須賀中学校区」で9.3%となっています。



出生地が「湖西市外」と回答された方の都道府県別内訳を見ると、「静岡県」が37.4%と最も多く、「愛知県」が29.5%と2番目に多くなっています。なお、「静岡県」と回答された方と「愛知県」と回答された方の合計割合は、66.9%であり、約3人に2人が静岡県内他市町もしくは愛知県から転入された方となっています。

問8. あなたの居住形態について。

(単位：%)

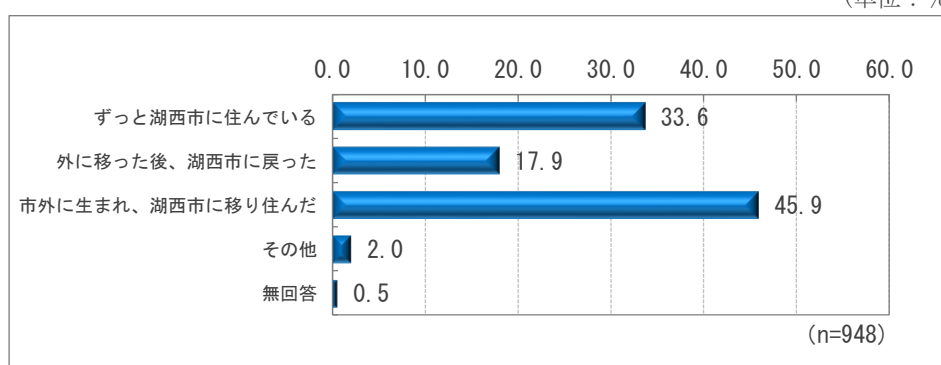


回答者の居住形態では、「持家（家族の所有）」にお住まいの方の割合が48.5%、「持家（自身の所有）」にお住まいの方の割合が21.5%であり、持家率は70%となっています。

賃貸住宅では、民間の借家にお住まいの方の割合が23.1%であるのに対し、公営の賃貸住宅にお住まいの方の割合は1.8%となっています。

問9. あなたの湖西市でのこれまでの居住に関する経緯について。

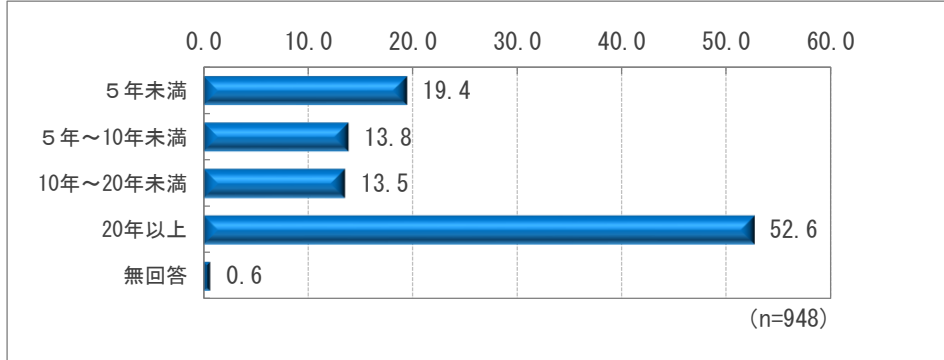
(単位：%)



回答者のこれまでの居住に関する経緯では「市外に生まれ、湖西市に移り住んだ」が45.9%と、概ね半数の方が市外から転入されてきています。

問10. あなたの湖西市での居住年数について。

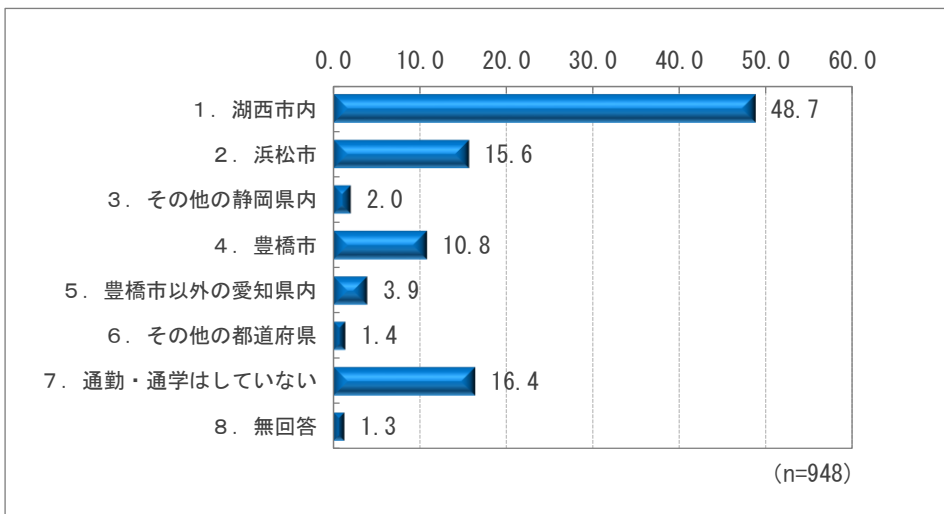
(単位：%)



回答者のこれまでの居住年数は「20年以上」と回答された方の割合が52.6%と、最も多くなっています。「5年未満」と回答された方の割合は19.4%であり、概ね5人に1人が、近年、湖西市に転入されてきています。

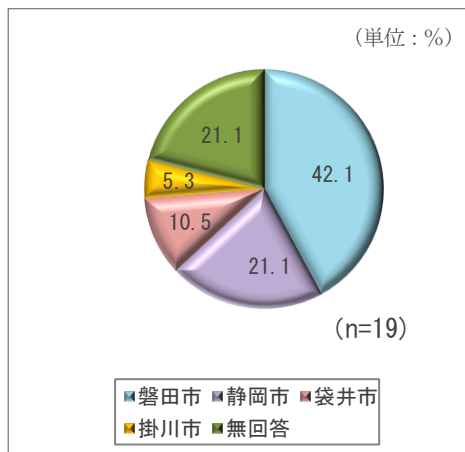
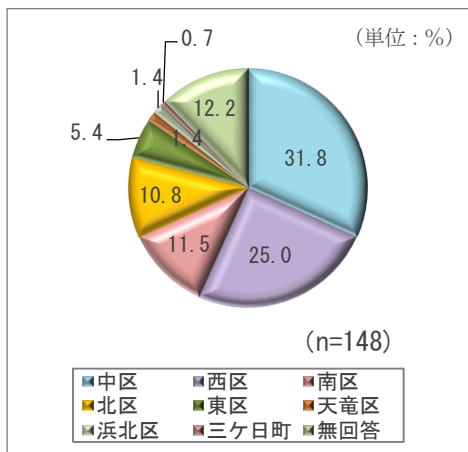
問11. あなたの勤務先・通学先について。

(単位：%)

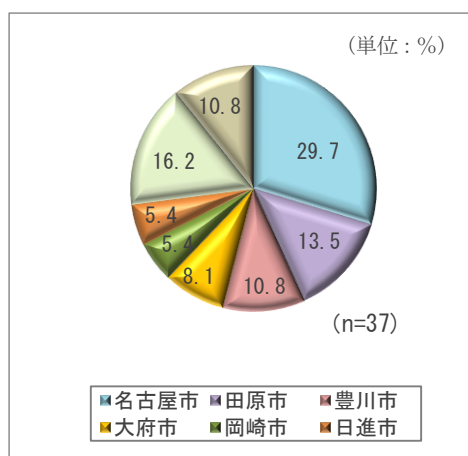


「2」を選択された方の内訳

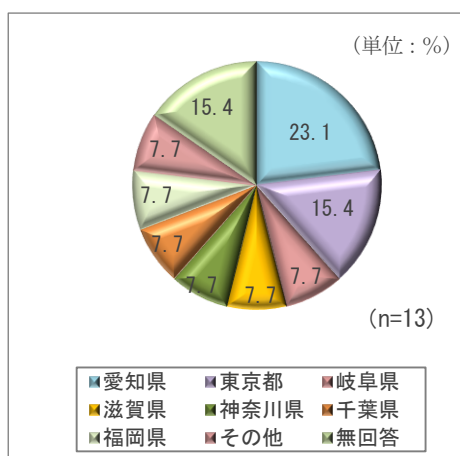
「3」を選択された方の内訳



「5」を選択された方の内訳



「6」を選択された方の内訳

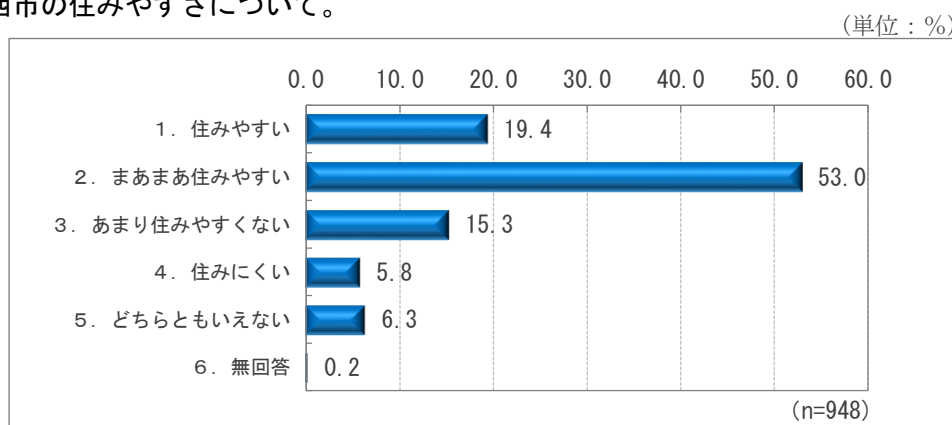


回答者の勤務先・通学先は「湖西市内」と回答された方の割合が48.7%と、最も多くなっています。その他、「通勤・通学はしていない」と回答された方を除くと、「浜松市」「豊橋市」と回答された方の割合が比較的多くなっています。

「浜松市内」と回答された方の細分をみると、「中区」「西区」への通勤・通学の割合が高くなっています。また、「その他静岡県内」と回答された方の細分では、「磐田市」「静岡市」の割合が高くなっています。

「豊橋市以外の愛知県内」と回答された方の細分では、「名古屋市」「田原市」「豊川市」の割合が高く、「その他の都道府県」と回答された方の細分では、「愛知県」「東京都」の割合が高くなっています。

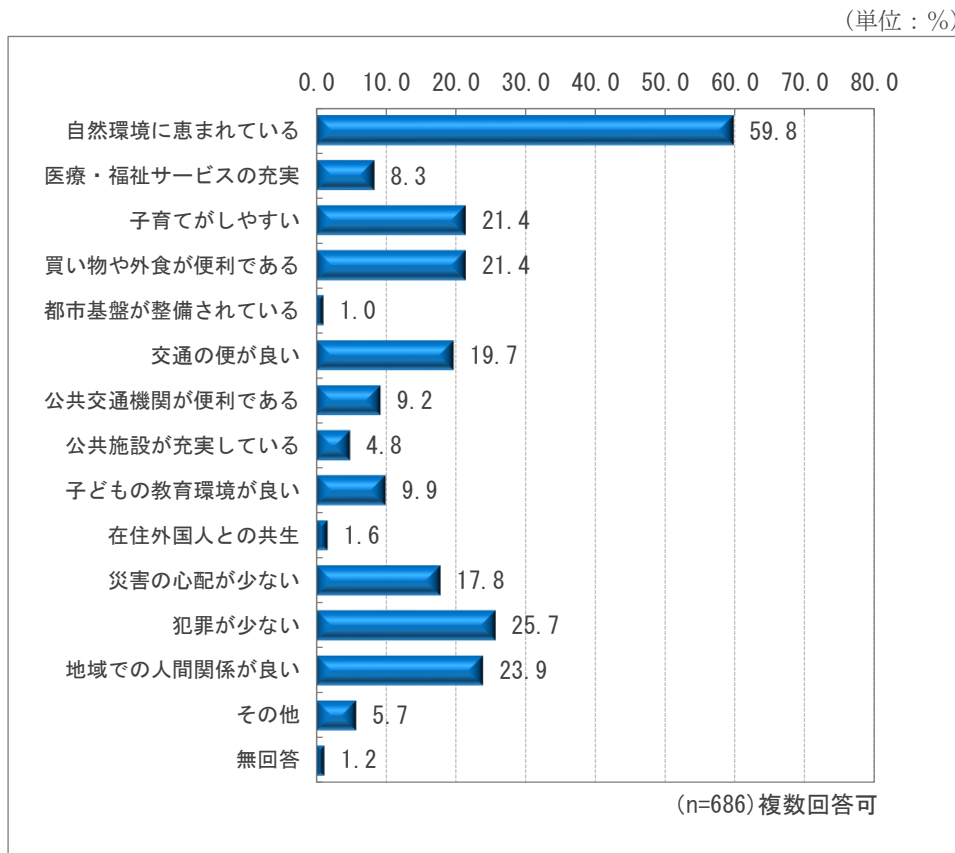
問12. 湖西市の住みやすさについて。



湖西市の住みやすさについては「住みやすい」と回答された方の割合が19.4%、「まあまあ住みやすい」と回答された方の割合が53.0%であり、「住みやすい」と感じている方の割合は全体の72.4%となっています。

一方、「あまり住みやすくない」と回答された方の割合は15.3%、「住みにくい」と回答された方の割合は5.8%であり、「住みにくい」と感じている方の割合は全体の21.1%となっています。

問13. 湖西市が住みやすいと思う理由について。(問12で1または2を選んだ方)



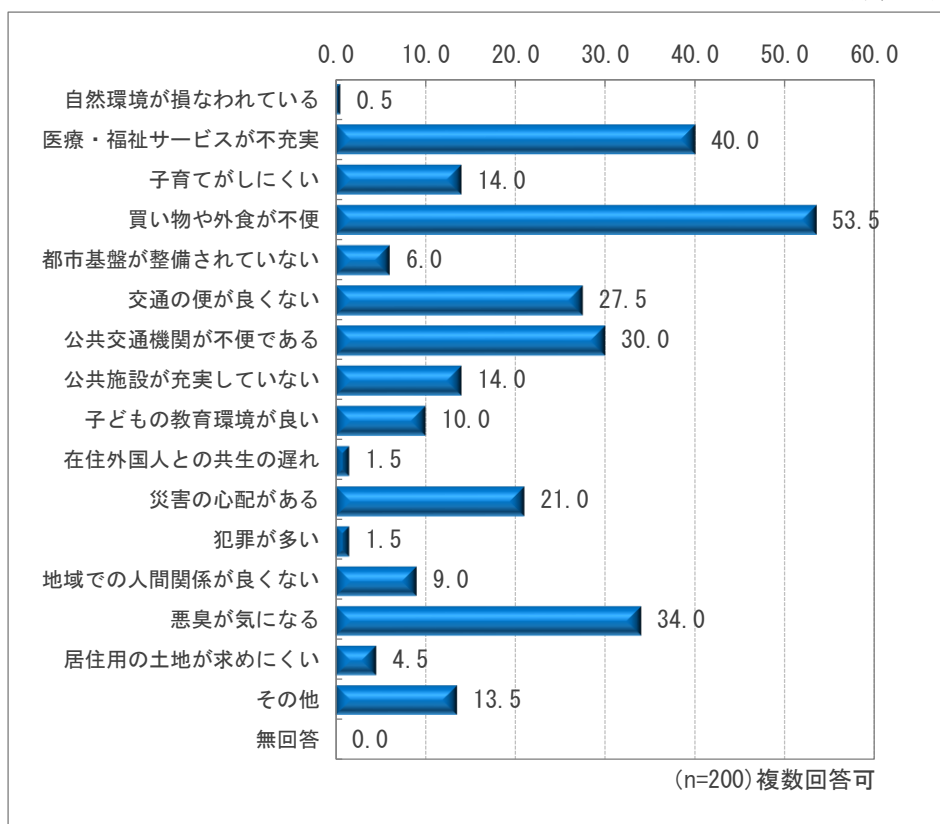
湖西市が住みやすいと思う理由については「自然環境に恵まれている」と回答された方の割合が59.8%と、最も多くなっています。その他では「犯罪が少ない」と回答された方の割合が25.7%、「地域での人間関係がよい」と回答された方の割合が23.9%と比較的多くなっておりま

す。一方で、「都市基盤が整備されている」と回答された方の割合が1.0%、「在住外国人との共生」と回答された方の割合が1.6%、「公共施設が充実している」と回答された方の割合が4.8%と、少ない値となっています。

その他の回答では、「駅、学校が近くにある」「慣れ親しんだ所だから」「気候がよい」「製造業をはじめとして、仕事がある」「医療費等の助成制度が充実している」「生活の便がよい」「まちが静かで暮らしやすい」などがありました。

問14. 湖西市が住みにくいと思う理由について。(問12で3または4を選んだ方)

(単位：%)



湖西市が住みにくいと思う理由については「買い物や外食が不便」と回答された方の割合が53.5%と、最も多くなっています。その他では「医療・福祉サービスが不充実」と回答された方の割合が40.0%、「悪臭が気になる」と回答された方の割合が34.0%と比較的多くなっています。

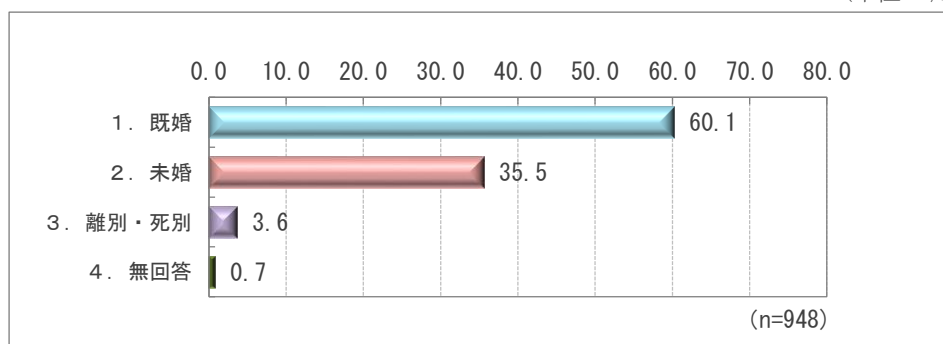
一方で、「自然環境が損なわれている」と回答された方の割合が0.5%、「在住外国人との共生の遅れ」と回答された方の割合が1.5%、「犯罪が多い」と回答された方の割合が1.5%と、少ない値となっています。

その他の回答では、「娯楽施設が少ない」「産科・婦人科をはじめ、医療施設の整備が不十分」などがありました。

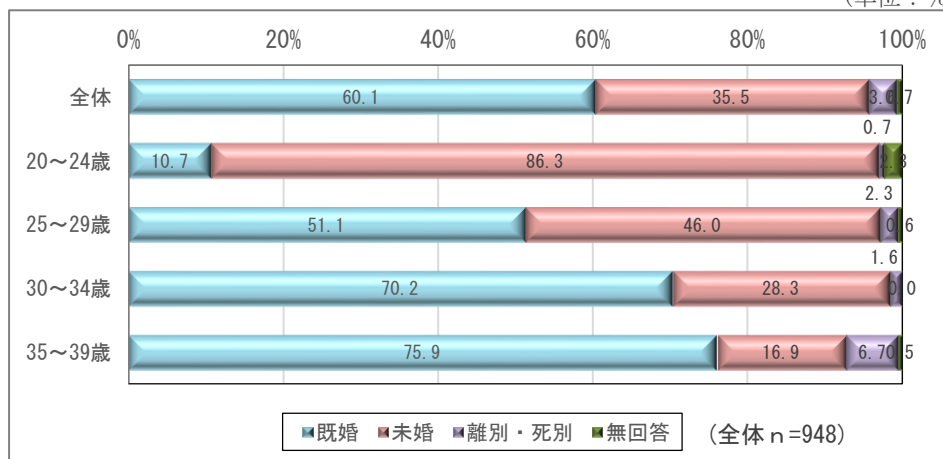
2 結婚観について

問 15. あなたは現在結婚していますか。

(単位：%)



(単位：%)

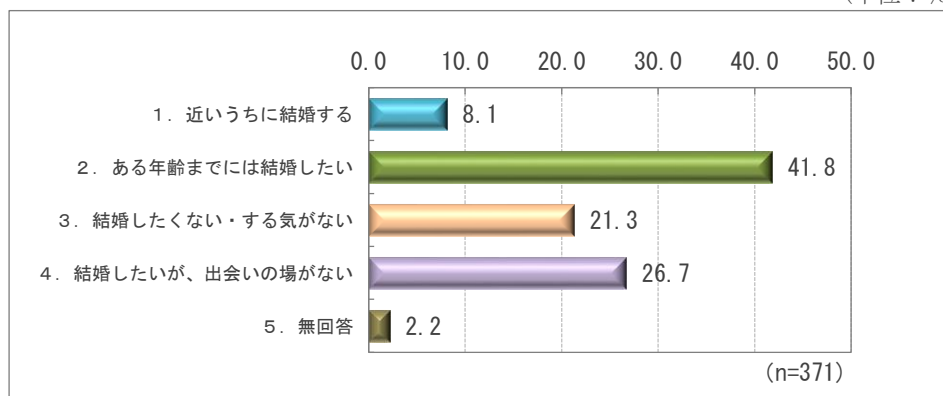


(注)年齢別の母数は、20~24歳:131人、25~29歳:176人、30~34歳:258人、35~39歳:373人、無回答:10人

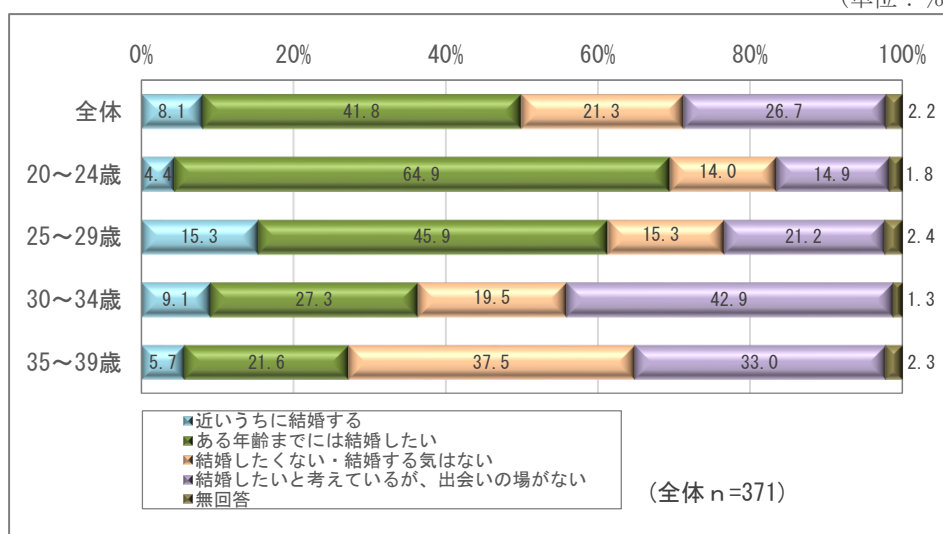
「既婚」と回答された方の割合が 60.1%、「未婚」と回答された方の割合が 35.5%となっています。また、年齢別の「既婚」「未婚」状況をみると、25~29歳の階層で既婚率が大きく上がっており、概ね 25~29歳の間で結婚される方が多い状況となっています。

問 16. 結婚（再婚）に対する考え方について。（問 15 で 2 または 3 を選んだ方）

(単位：%)



(単位：%)



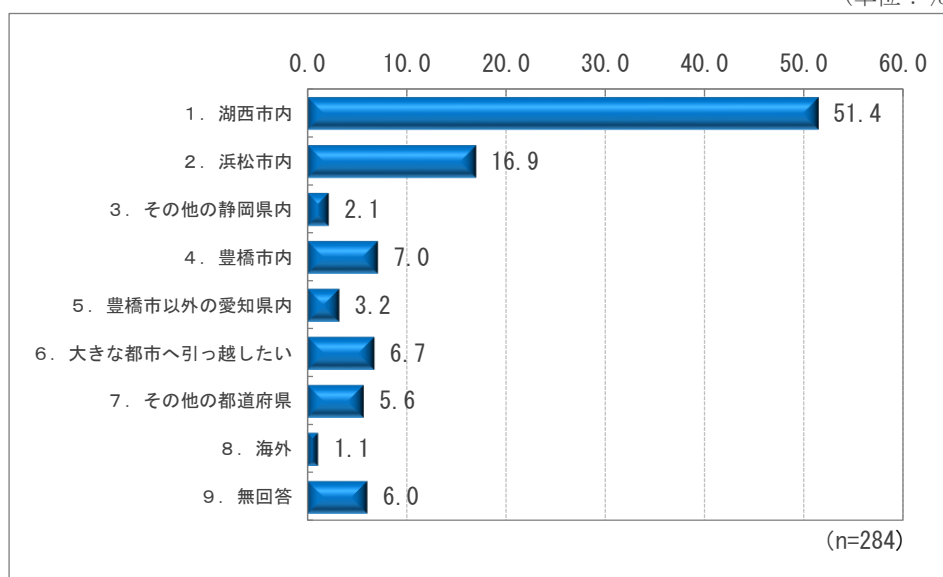
(注)年齢別の母数は、20~24歳:114人、25~29歳:85人、30~34歳:77人、35~39歳:88人、無回答:7人

結婚に対する考え方では、「ある年齢までには結婚したい」と回答された方の割合が41.8%と最も多く、「結婚したいと考えているが、出会いの場がない」と回答された方の割合が26.7%と2番目に多くなっています。一方、「結婚したくない・する気がない」と回答された方の割合は21.3%で、概ね5人に1人が結婚を望んでいないことが分かります。

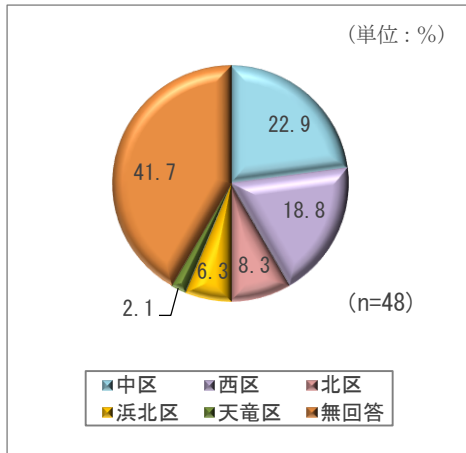
また、年齢階層別にみると、年齢層が高くなるにつれ「結婚したくない・する気がない」と回答された方の割合が多くなっています。

問17. 結婚後の住みたい場所について。(問16で1、2または4を選んだ方)

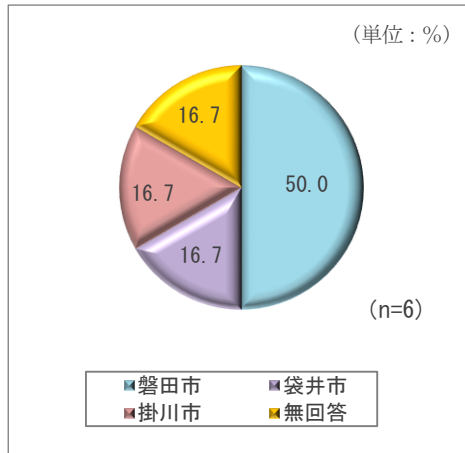
(単位：%)



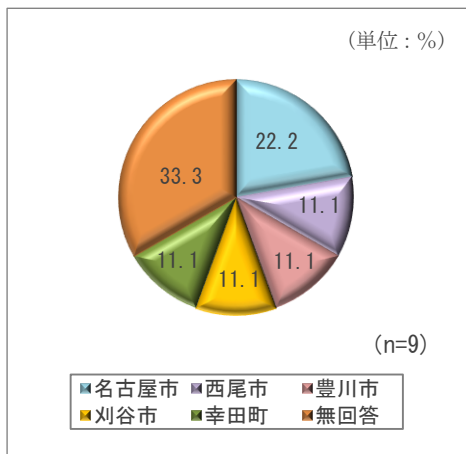
「2」を選択された方の内訳



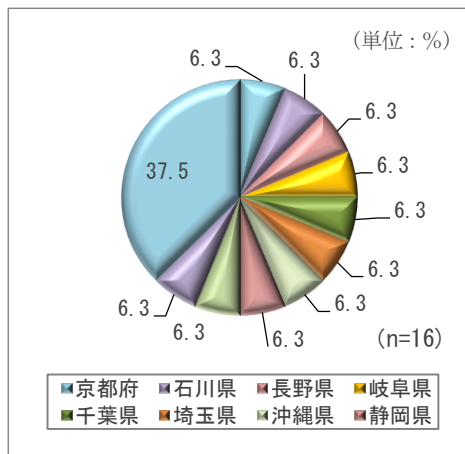
「3」を選択された方の内訳



「5」を選択された方の内訳



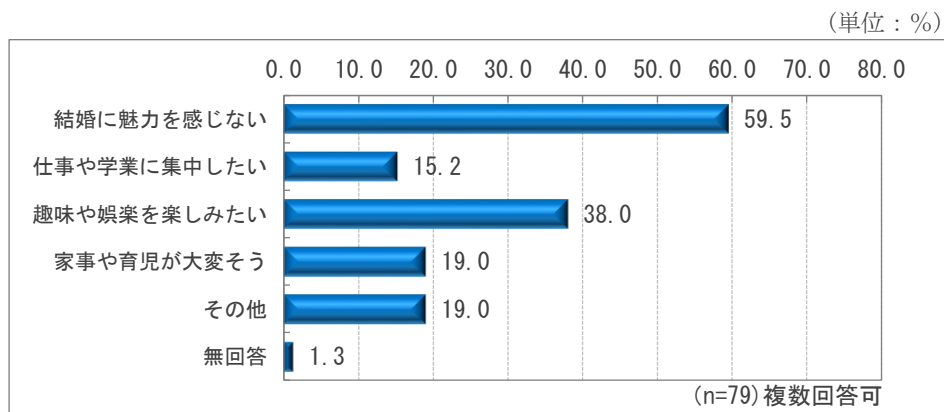
「7」を選択された方の内訳



結婚後の住みたい場所については、「湖西市内」と回答された方の割合が51.4%と、最も多くなっています。その他、「浜松市内」と回答された方の割合が16.9%と2番目に多く、「豊橋市内」と回答された方の割合が7.0%と、3番目に多くなっています。

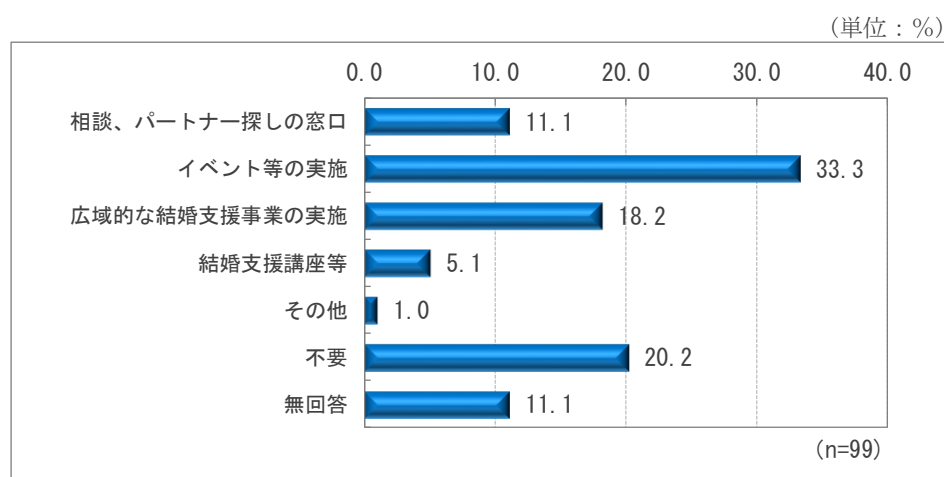
「浜松市内」と回答された方の細分をみると、「中区」「西区」に住みたい割合が高くなっています。また、「その他静岡県内」と回答された方の細分では、「磐田市」の割合が高くなっています。

問 18. 結婚したくない・する気がない理由について。(問 16 で 3 を選んだ方)



結婚したくない・する気がない理由については、「結婚に魅力を感じない」と回答された方の割合が59.5%と最も多くなっており、次いで、「趣味や娯楽を楽しみたい」と回答された方の割合が38.0%となっています。その他として、「経済的に厳しい」と回答された方の数が複数回答見受けられました。

問 19. 結婚や男女の出会いの場をつくるために望まれる施策（問 16 で 4 を選んだ方）

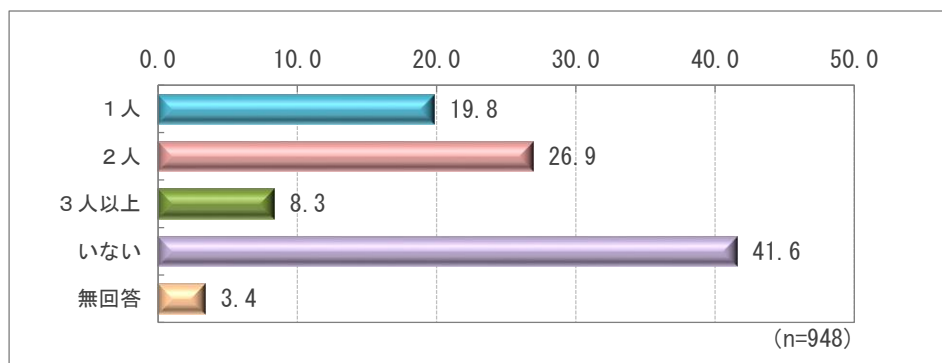


結婚や男女の出会いの場をつくるために望まれる施策として、「結婚したい男女の出会いの場づくりを行うイベント等の実施」と回答された方の割合が33.3%と最も多くなっています。

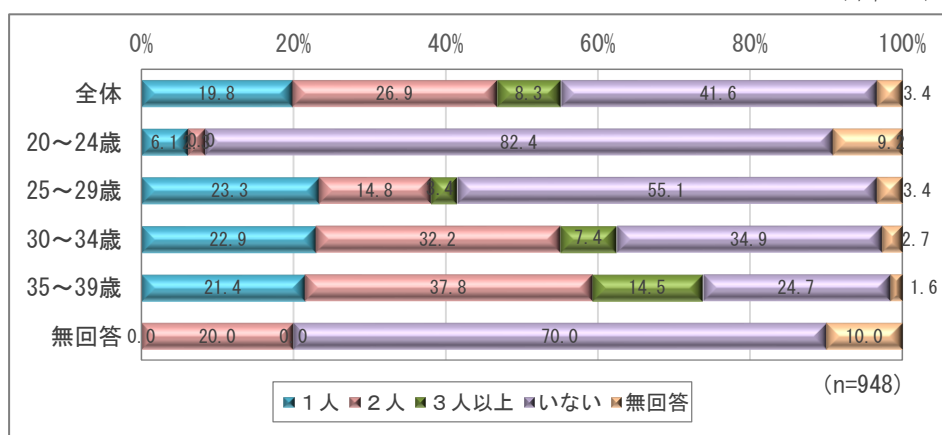
3 出産・子育ての希望について

問 20. 現在お持ちの子ども数について。

(単位：%)



(単位：%)



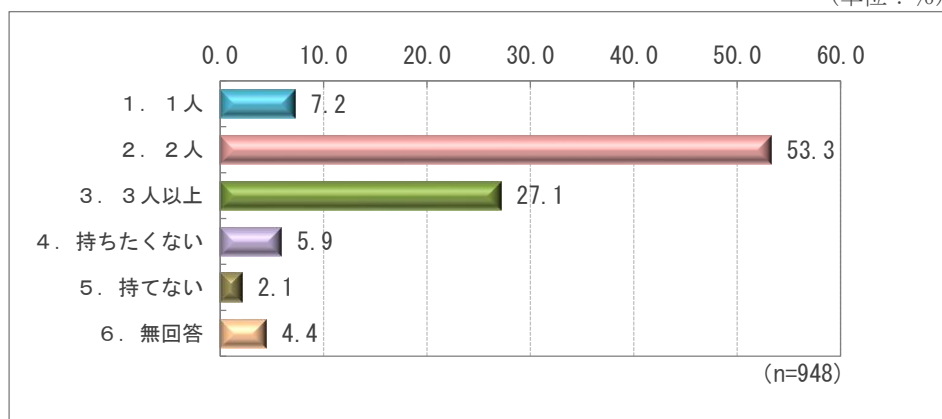
(注)年齢別の母数は、20～24歳:131人、25～29歳:176人、30～34歳:258人、35～39歳:373人、無回答:10人

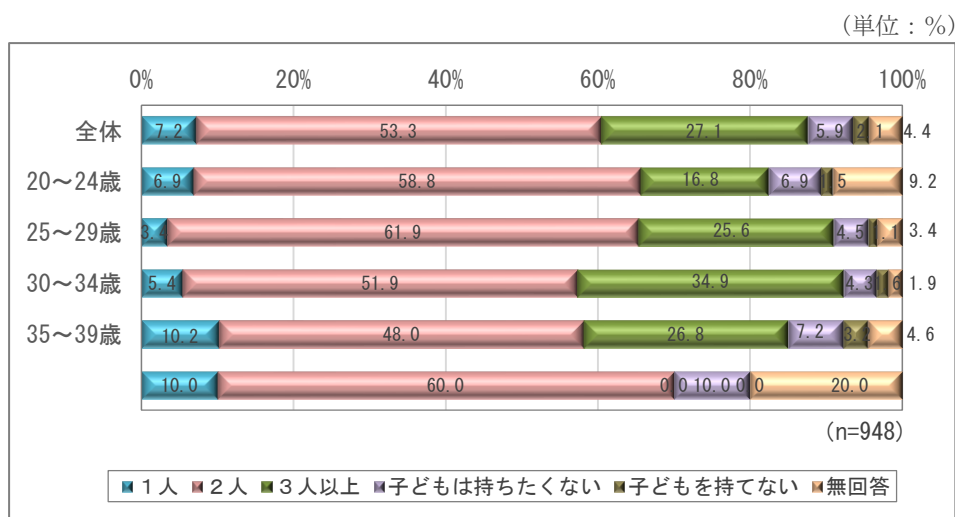
現在お持ちの子ども数では、「いない」と回答された方の割合が41.6%と最も多くなっており、次いで、「2人」と回答された方の割合が26.9%となっています。

年齢階層別にみると、35～39歳で「3人以上」と回答された方の割合が14.5%と最も多く、20～24歳で「いない」と回答された方の割合が82.4%と最も多くなっています。

問 21. 将来ほしい子ども数（理想とする子ども数）について。

(単位：%)



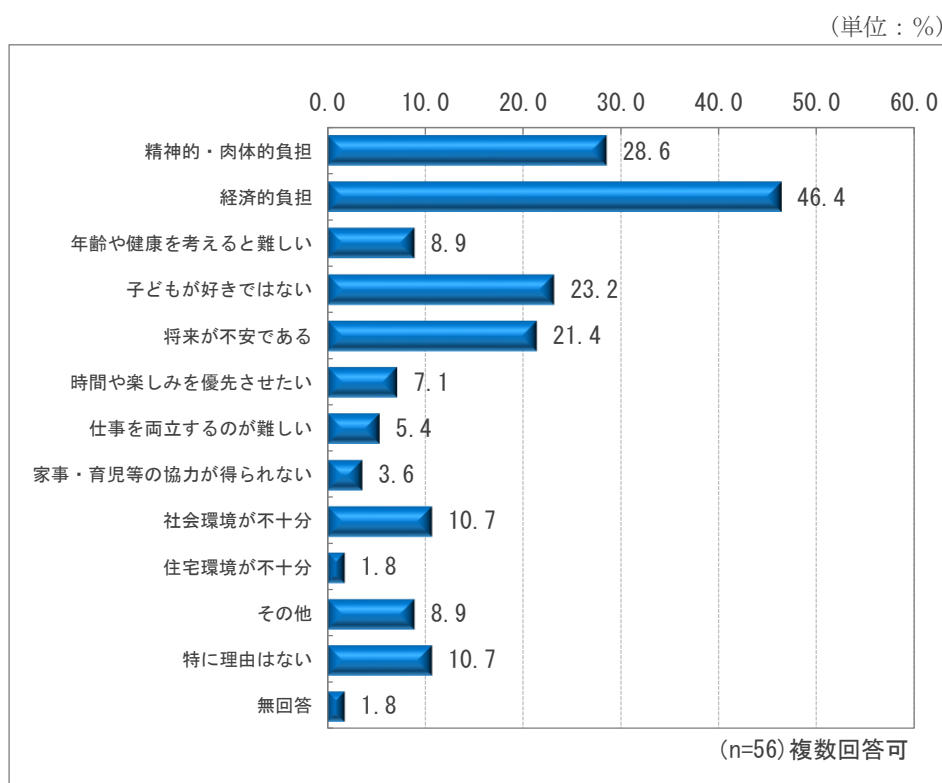


(注)年齢別の母数は、20～24歳:131人、25～29歳:176人、30～34歳:258人、35～39歳:373人、無回答:10人

将来ほしい子どもの数では、「2人」と回答された方の割合が53.3%と最も多くなっており、次いで、「3人」と回答された方の割合が27.1%となっています。

年齢階層別にみると、「3人以上」子どもがほしいと回答した割合では30～34歳階級で最も多くなっています。

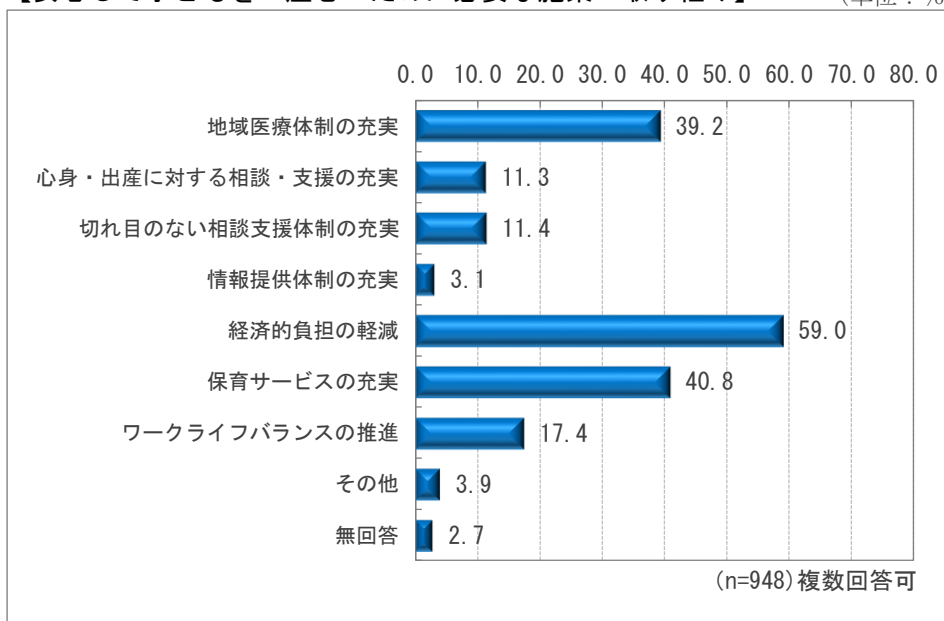
問22. 子どもを持ちたくない理由について。(問21で4を選んだ方)



子どもを持ちたくない理由では、「経済的負担」と回答された方の割合が46.4%と最も多くなっており、次いで、「精神的・肉体的負担」と回答された方の割合が28.6%となっています。

問 23. 若い世代が安心して子どもを産み・育てることができるための施策・取り組みについて。

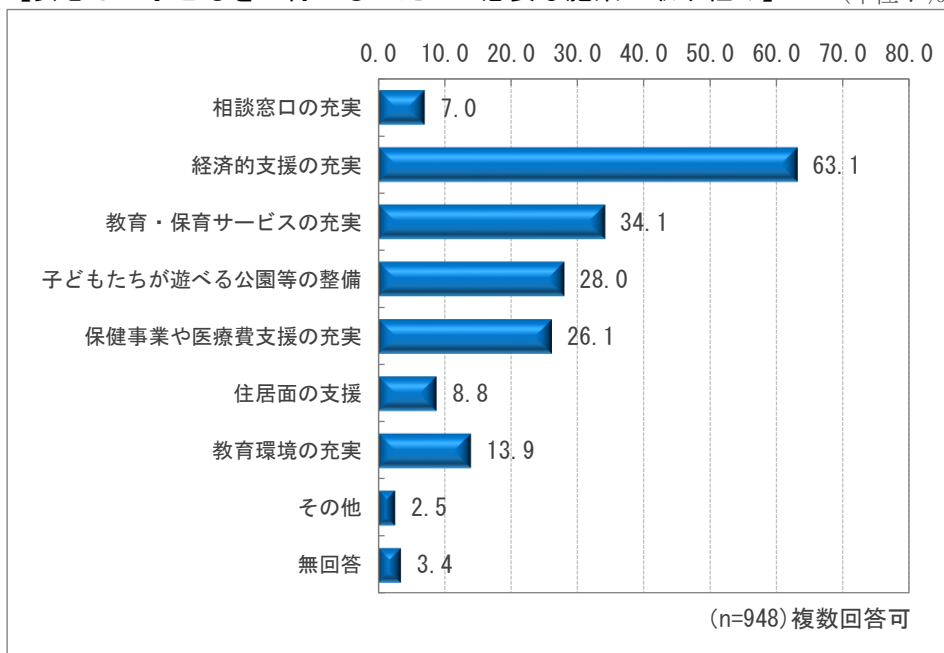
【安心して子どもを“産む”ために必要な施策・取り組み】 (単位：%)



安心して子どもを“産む”ために必要な施策・取り組みとして、「経済的負担の軽減」と回答された方の割合が59.0%と最も多くなっており、次いで「保育サービスの充実」「地域医療体制の充実」と回答された方の割合が高くなっています。

その他として、「湖西市で安心して子どもを産むことができる産科の充実」と回答された方の数が複数回答見受けられました。

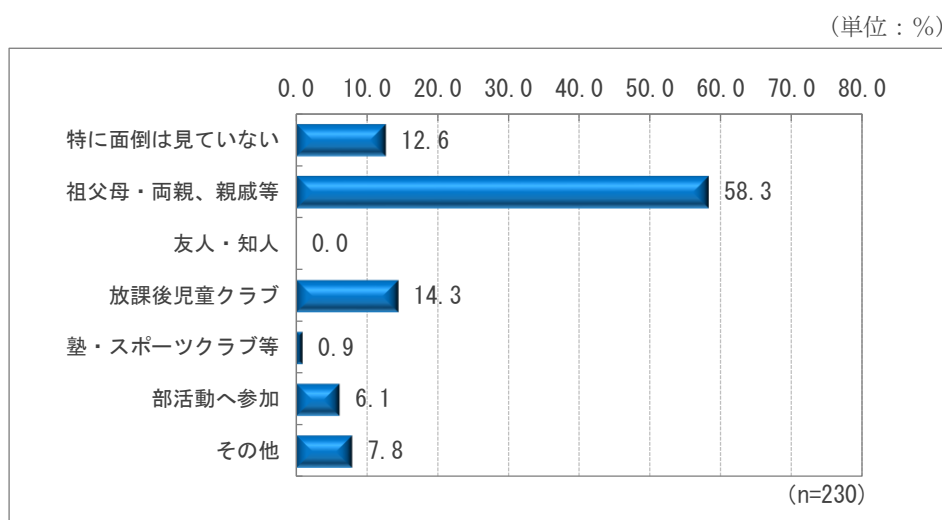
【安心して子どもを“育てる”ために必要な施策・取り組み】 (単位：%)



安心して子どもを“育てる”ために必要な施策・取り組みとして、「経済的支援の充実」と回答された方の割合が63.1%と最も多くなっており、次いで「教育・保育サービスの充実」「子どもたちが遊べる公園等の整備」「保健事業や医療費支援の充実」と回答された方の割合が高くなっています。

その他として、「地域全体で子育てを行う仕組みづくりの構築」が必要と回答された方の数が複数回答見受けられました。

問 24. 夏休み期間中の子どもの面倒について（小中学生の子どもをお持ちの方）



夏休み期間中の子どもの面倒では、「祖父母・両親、親戚等」と回答された方の割合が58.3%と最も多くなっています。

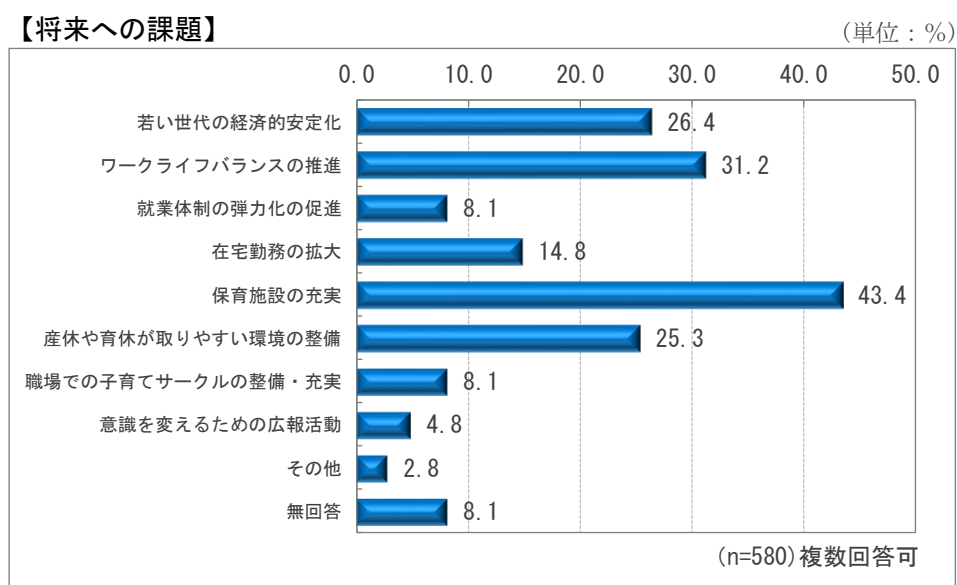
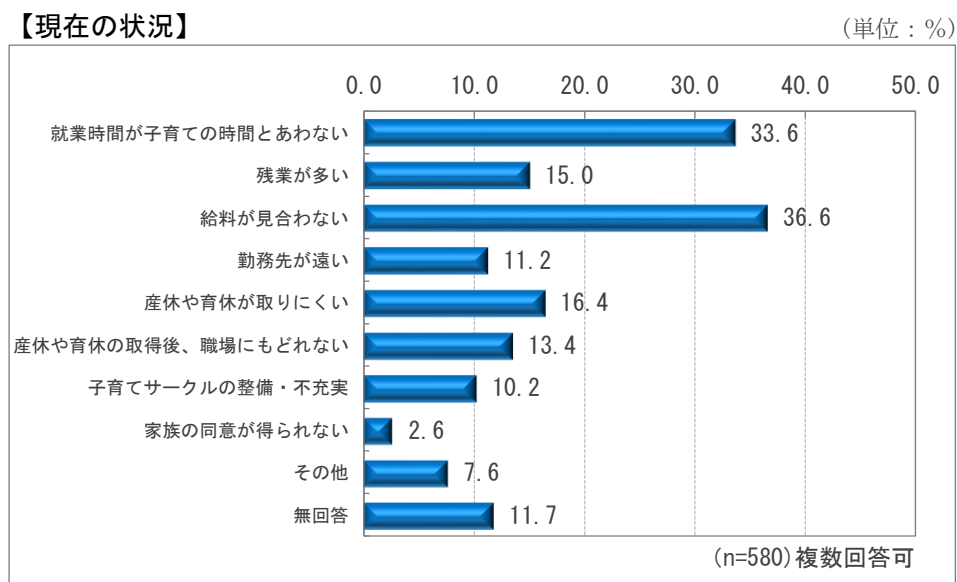
その他としては、「自身」「自身もしくは配偶者」と回答された方の数が複数回答見受けられました。

問 25. 夏休み期間中に市へ期待することについて（小中学生の子どもをお持ちの方）【記述式】

とまとめ作業中

4 職業観について（女性のみ）

問 26. 女性が社会進出するために必要なこと。



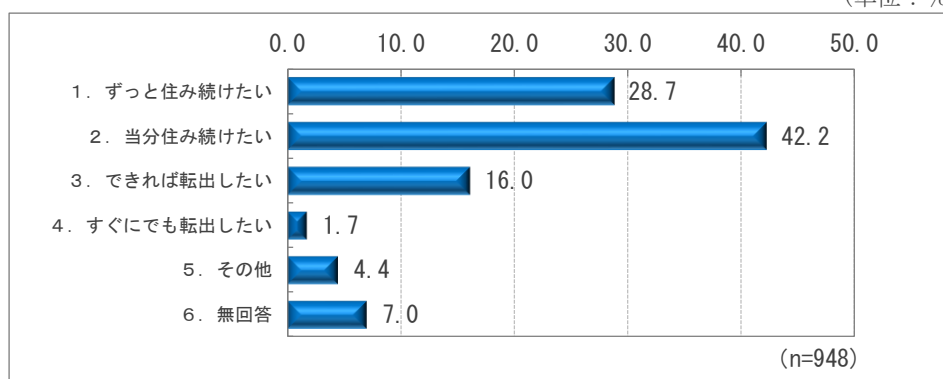
【現在の状況】では、「給料が生活や子育てに必要な金額に見合わない」と回答された方の割合が36.6%と最も多く、次いで「就業時間が保育所などの子育ての時間とあわない」と回答された方の割合が33.6%となっています。

【将来への課題】では、「保育施設の充実」と回答された方の割合が43.4%と最も多く、次いで「残業時間の短縮や休暇の取得促進等ワークライフバランスの推進」「正規雇用の促進など若い世代の経済的安定化」「産休や育休が取りやすい環境の整備」と回答された方の割合が多くなっています。

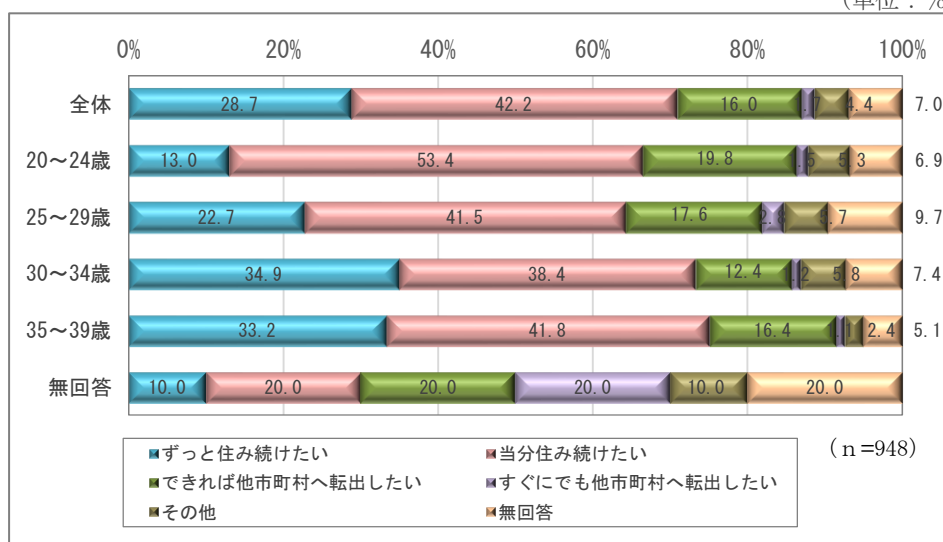
5 湖西市全体のことについて

問 27. 湖西市への定住意向について。

(単位：%)



(単位：%)



(注) 年齢別の母数は、20～24歳:131人、25～29歳:176人、30～34歳:258人、35～39歳:373人、無回答:10人

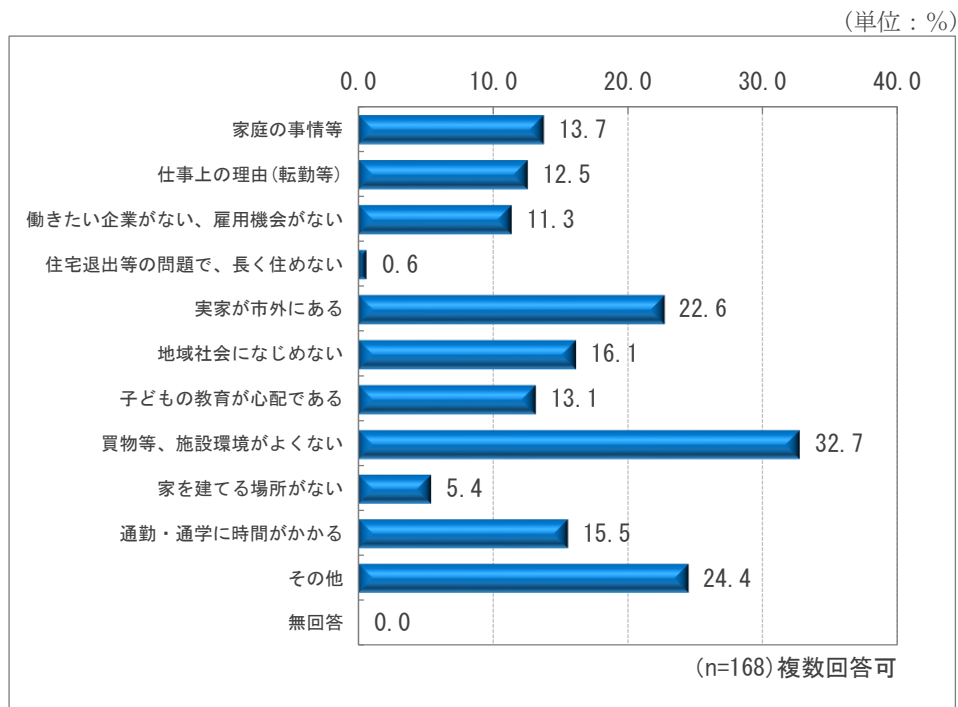
湖西市への定住意向について、「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」と回答された方の合計割合は70.9%となっています。

年齢階層別にみると、20歳代よりも30歳代のほうが「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」と回答された方の割合が多く、年齢が高くなるほど定住意向が強くなっている傾向が表れています。

一方で、17.7%の方が転出を希望されており、年齢階層別では若い世代になるほど転出意向が強くなっています。

その他の回答では、「結婚相手にあわせる」や「実家、地元に戻る・帰りたい」といった回答が複数回答見受けられました。

問28. 転出を希望する理由について。(問27で3または4を選んだ方)



転出を希望する理由では、「買物等、施設環境がよくない」が32.7%と最も多く、「実家が市外にある」が22.6%と、2番目に多くなっています。

その他の回答では、「津波をはじめとした災害が心配」といった回答や「医療体制が整っていないため」「公共交通の便がよくない」といった回答が複数回答見受けられました。

6 自由記述

とよまとめ作業中

7 調査結果の考察

(1) 属性に関する考察

- 20歳代・30歳代の多くは、正社員として「製造業」で働いており、製造業を営む企業の立地が若者の定着率に寄与しているものと考えられます。(問：4、5)
- 湖西市外からの転入者の割合は約46%で、そのうちの約67%(3人に2人)が静岡県内・愛知県内からの転入者となっています。また、最近の転入状況を見ると、居住年数が5年未満と回答された方の割合が約20%(約190人)であり、年間平均38人程度の転入者がいることが分かります。(問：7、10)
- 通勤・通学先をみると、湖西市から「浜松市」と「豊橋市」へ通勤・通学されている方の割合が約26%となっています。また、居住形態をみると、賃貸住宅及び社宅・官舎にお住まいの方の割合が約28%となっています。

通勤流動や居住形態は、将来的な社会減少に対する不安要因として考えられるため、湖西市においては、いずれのケースにおいても、概ね4人に1人(240人程度)の割合で、不安要因を抱えているものと推察されます。(問：8、11)
- “住みやすさ”から湖西市の“強み”と“弱み”をみると、「自然環境に恵まれている」ことが湖西市にとっての最も大きな“強み”となっています。一方で、「商業施設が足りない」、「医療・福祉サービスが充実していない」ことが“弱み”となっています。

(問：13、14)
- 以上の状況を踏まえ、湖西市における今後の人口減少対策として有効と思われる施策の方向性は、以下のとおり整理されます。
 - I 「製造業」を中心とした産業振興の更なる推進強化。
 - II 住宅手当や住宅補助の充実など、近隣市と比べて魅力ある住宅環境政策の推進。
 - III 全国に湖西市の自然環境(魅力)を知ってもらうための情報発信・PR強化。

(2) 結婚観に関する考察

- 20歳代・30歳代のうち、未婚(離別・死別含む)者の割合は約36%(371人)で、そのうちの約21%(約80人)の方が「結婚したくない・する気がない」と回答されています。また、「結婚したくない・する気がない」と回答された方の年齢層は、35~39歳で最も多く、将来的な自然増加に対する不安要因としてとらえることができます。(問：15、16)
- 結婚したくない・する気がない理由としては、「結婚に魅力を感じない」「趣味や娯楽を楽しみたい」といった理由が多くなっています。また、出会いの場づくりとして、「婚活イベントの実施」が多く望まれています。(問18、19)

- 結婚後の住みたい場所では、約43%（湖西市内、無回答を除いた方の割合）（約120人）の方が湖西市外への転出を希望しており、将来的な社会減少に対する不安要因としてとらえることができます。（問：17）
- 以上の状況を踏まえ、湖西市における今後の人口減少対策として有効と思われる施策の方向性は、以下のとおり整理されます。
 - I テーマ（趣味・娯楽分野）ごとの婚活イベントの開催による出会いの場の創出。
 - II 住宅手当や住宅補助の充実など、近隣市と比べて魅力ある住宅環境政策の推進。（再掲）

（3）出産・子育ての希望及び女性の社会進出に関する考察

- 子どもの数について、現在「3人以上」子どもを持っていると回答された方の割合が8.3%であるのに対して、将来「3人以上」子どもがほしいと回答された方の割合は27.1%となっています。また、子どもを持ちたくない理由として「経済的負担」と回答された方の割合が46.4%と最も多く、併わせて、若い世代が安心して子どもを産み・育てることができるために望まれる施策・取り組みとしては、「経済的負担の軽減」「経済的支援の充実」が最も多くなっています。（問：20、21、22、23）

さらに、女性の社会進出に対する課題では、「保育施設の充実」「ワークライフバランスの推進」を望まれる方の割合が多くなっています。（問：26）

このことから、出産・子育てや女性の社会進出に対する希望を叶え、湖西市における今後の自然増加を推進する施策として有効と思われる施策の方向性は、以下のとおり整理されます。

- I 出産・子育てに対する財政支援を充実するとともに、地域全体で支え・育む、子育てに優しいまちづくりの実現。

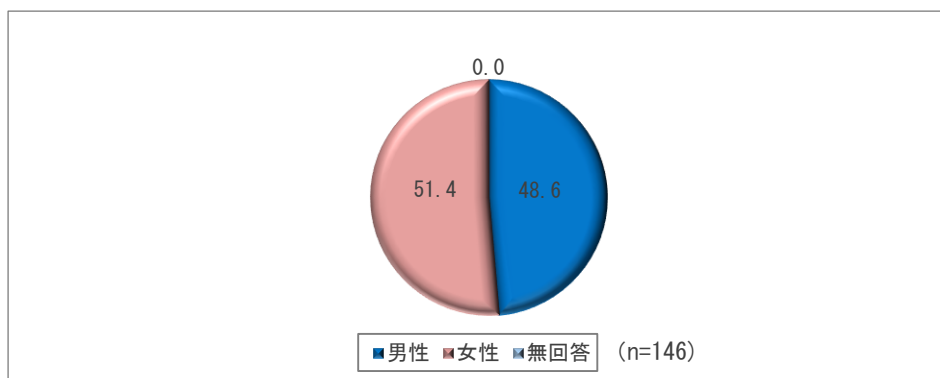
第2部

就職・進学に関する調査

1 回答者の属性について

問1. あなたの性別について。

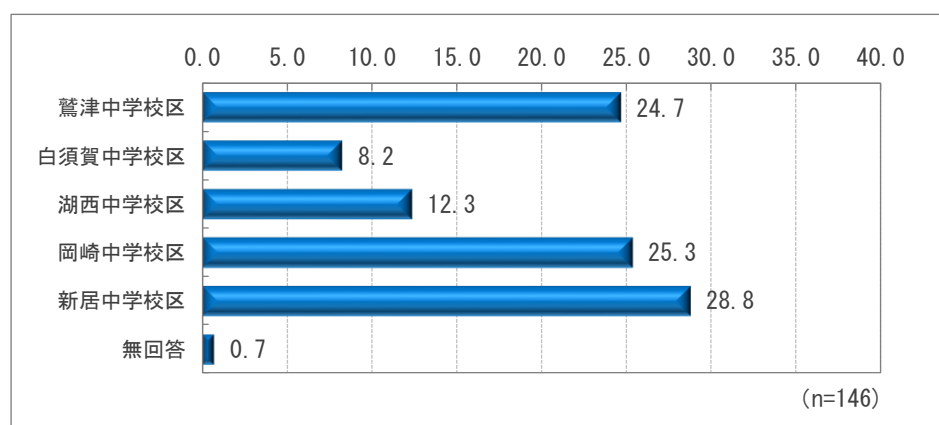
(単位：%)



回答者の総数は、146人で、性別は男性が48.6%、女性が51.4%となっています。

問2. あなたのお住まいの地域について。

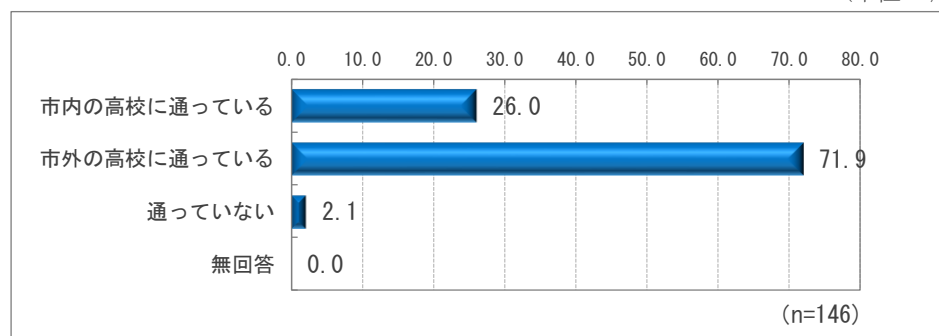
(単位：%)



回答者の居住地区では、「新居中学校区」が28.8%と最も多く、「岡崎中学校区」が25.3%で2番目に多くなっています。最も少ない地区は「白須賀中学校区」で8.2%となっています。

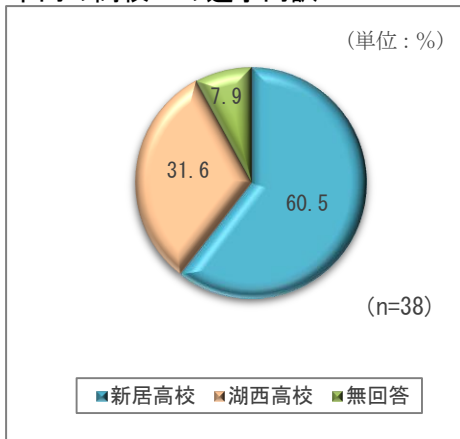
問3. 現在通っている高校について。

(単位：%)

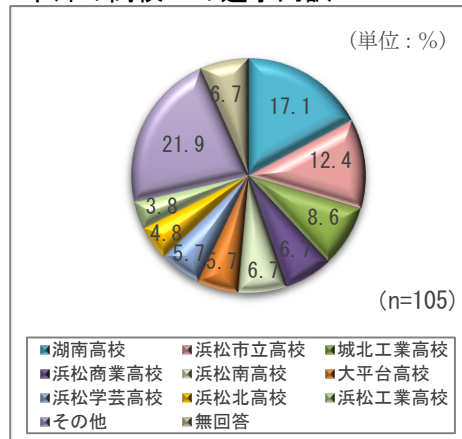


通学状況では、「市外の高校に通っている」と回答された方の割合が71.9%と多くなっています。

市内の高校への通学内訳



市外の高校への通学内訳

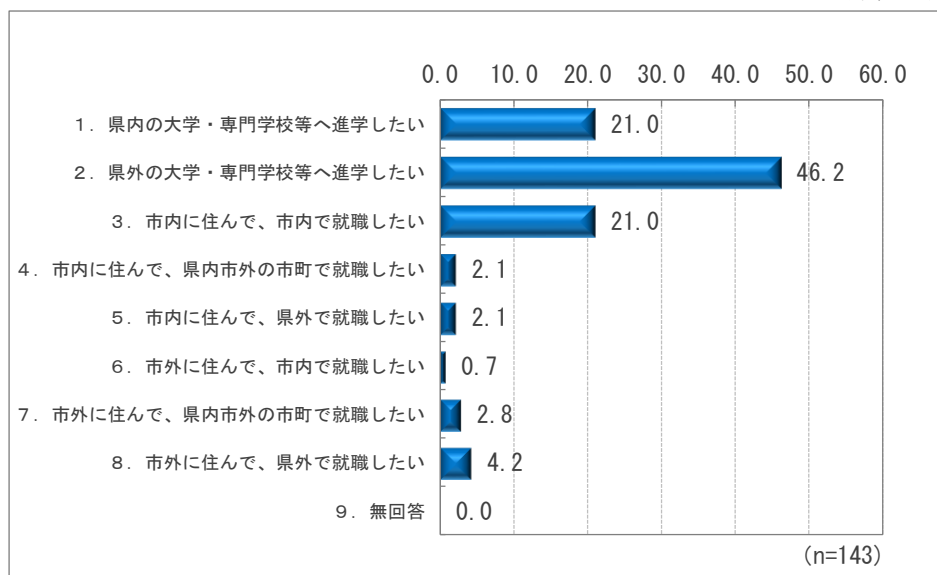


市内の高校への通学状況を見ると、「新居高校」へ通っている方の割合が 60.5%と多くなっています。市外の高校への通学状況では、「湖南高校」へ通っている方の割合が 17.1%と最も多く、「浜松市立高校」が 12.4%で2番目に多くなっています。

2 今後の進路等について

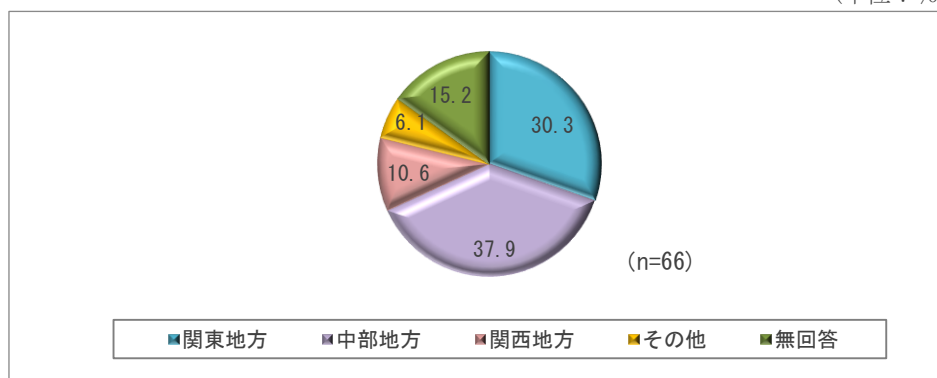
問4. 高校卒業後の進路について。(問3で1または2を選んだ方)

(単位：%)



「2」を選択された方の内訳

(単位：%)



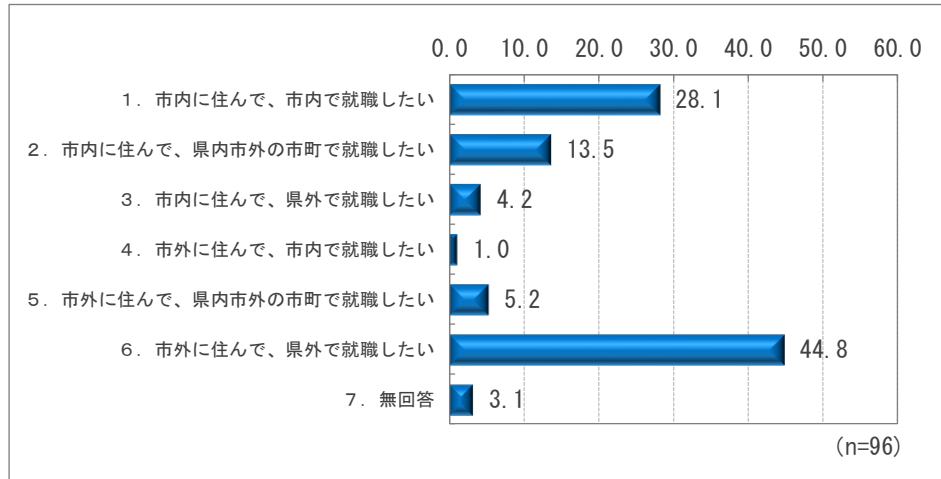
高校卒業後の進路希望では、「県外の大学・専門学校等へ進学したい」と回答された方の割合が46.2%と、最も多くなっています。次いで、「県内の大学・専門学校等へ進学したい」と「市内に住んで、市内で就職したい」と回答された方の割合が21.0%となっています。

「県外の大学・専門学校等へ進学したい」と回答された方の地方別進学先の内訳をみると、中部地方（主に愛知県内）への進学を希望されている方が37.9%と、最も多くなっています。次いで、関東地方への進学を希望されている方の割合が30.3%で、2番目に多くなっています。

関西地方への進学を希望されている方の割合は、10.6%で、中部地方及び関東地方への進学希望率より低い値となっています。

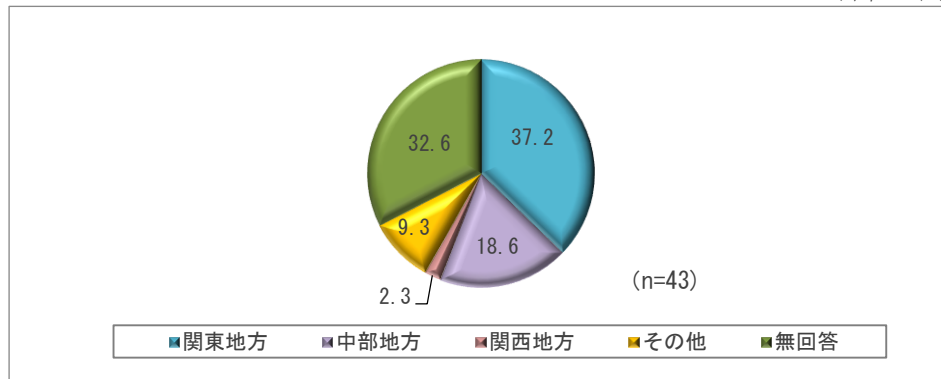
問5. 大学・専門学校等の卒業後の進路について。(問4で1または2を選んだ方)

(単位：%)



「6」を選択された方の内訳

(単位：%)



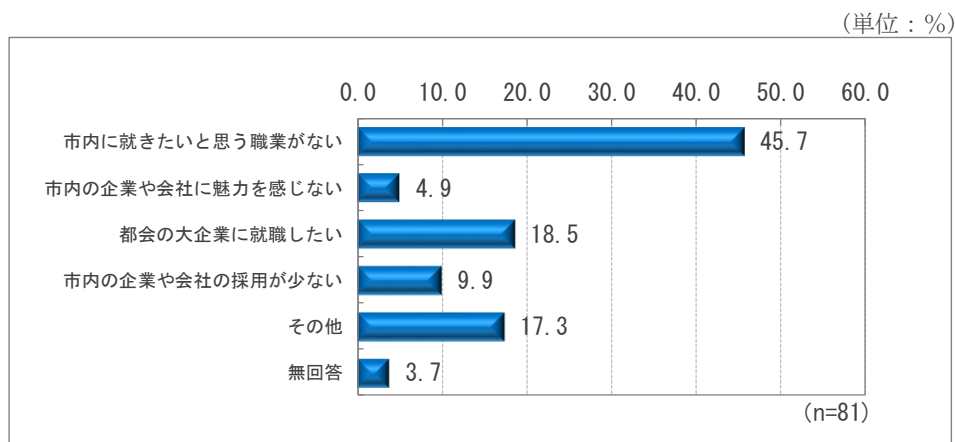
大学・専門学校等の卒業後の進路希望では、「市外に住んで、県外で就職したい」と回答された方の割合が44.8%と、最も多くなっています。次いで、「市内に住んで、市内で就職したい」と回答された方の割合が28.1%となっています。

「市外に住んで、県外で就職したい」と回答された方の地方別就職先の内訳をみると、関東地方への就職を希望されている方が37.2%と、最も多くなっています。次いで、中部地方（主に愛知県）への就職を希望されている方の割合が18.6%で、2番目に多くなっています。

関西地方への就職を希望されている方の割合は、2.3%で、中部地方及び関東地方への就職希望率より低い値となっています。

問6. 湖西市以外で就職したい理由について。

(問4で4, 5, 7, 8を選んだ方、問5で2, 3, 5, 6を選んだ方)

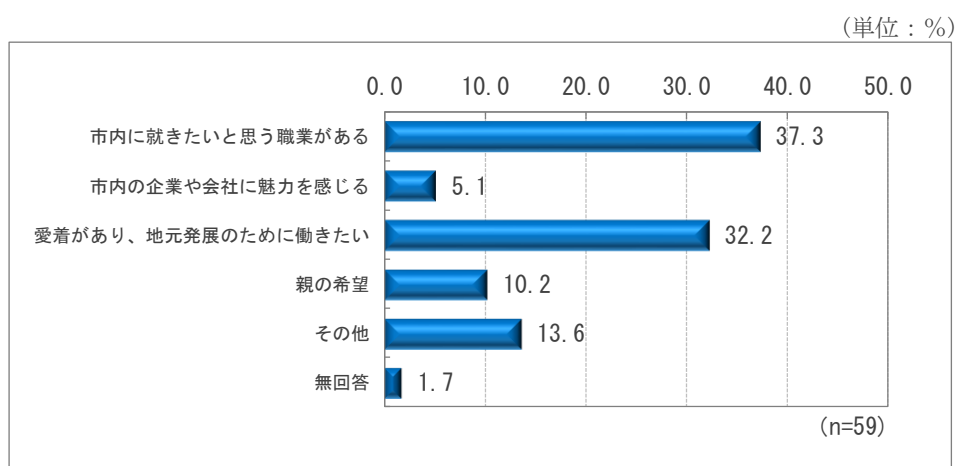


湖西市以外で就職したい理由では、「市内に就きたいと思う職業がない」と回答された方の割合が45.7%と、最も多くなっています。最も少なかったのは、「市内の企業や会社に魅力を感じない」と回答された方で、4.9%となっています。

その他の回答として、「都会の方が自分の就きたい就職先が多いから」「他地域に自分の就きたい就職先があるから」「地元から出て、広い視野を持ちたいから」などの回答が見受けられました。

問7. 湖西市内で就職したい理由について。

(問4で3または6を選んだ方、問5で1または4を選んだ方)

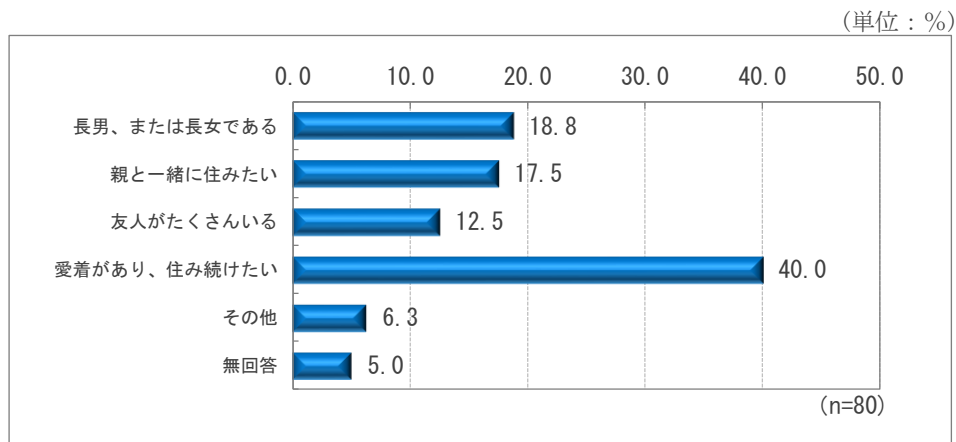


湖西市内で就職したい理由では、「市内に就きたいと思う職業がある」と回答された方の割合が37.3%と、最も多くなっています。最も少なかったのは、「市内の企業や会社に魅力を感じる」と回答された方で、5.1%となっています。

その他の回答として、「自分の家から近いから」「地元で就きたい企業があるから」などの回答が見受けられました。

問8. 湖西市に住みたい理由について。

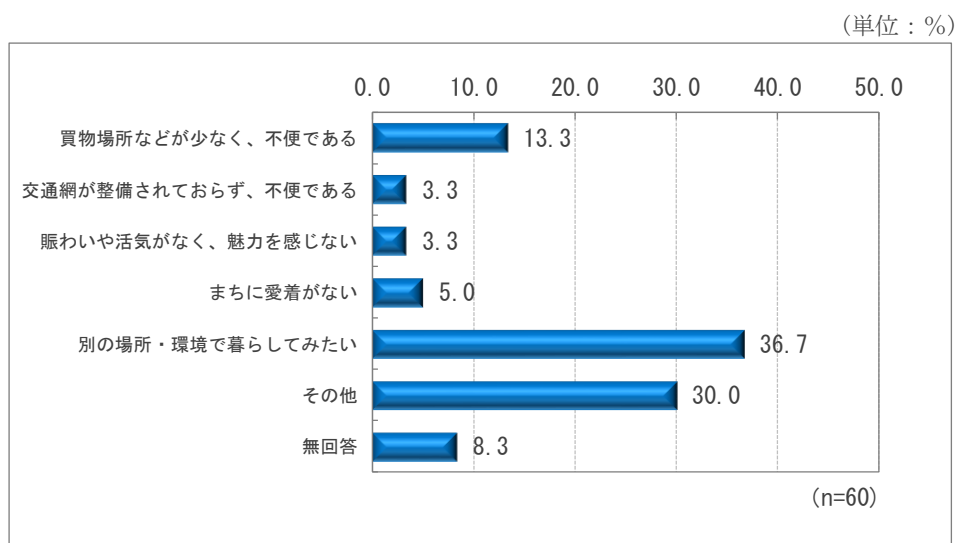
(問4で3, 4, 5を選んだ方、問5で1, 2, 3を選んだ方)



湖西市に住みたい理由では、「愛着があり、住み続けたい」と回答された方の割合が40.0%と、最も多くなっています。

問9. 湖西市に住みたくない理由について。

(問4で6, 7, 8を選んだ方、問5で4, 5, 6を選んだ方)

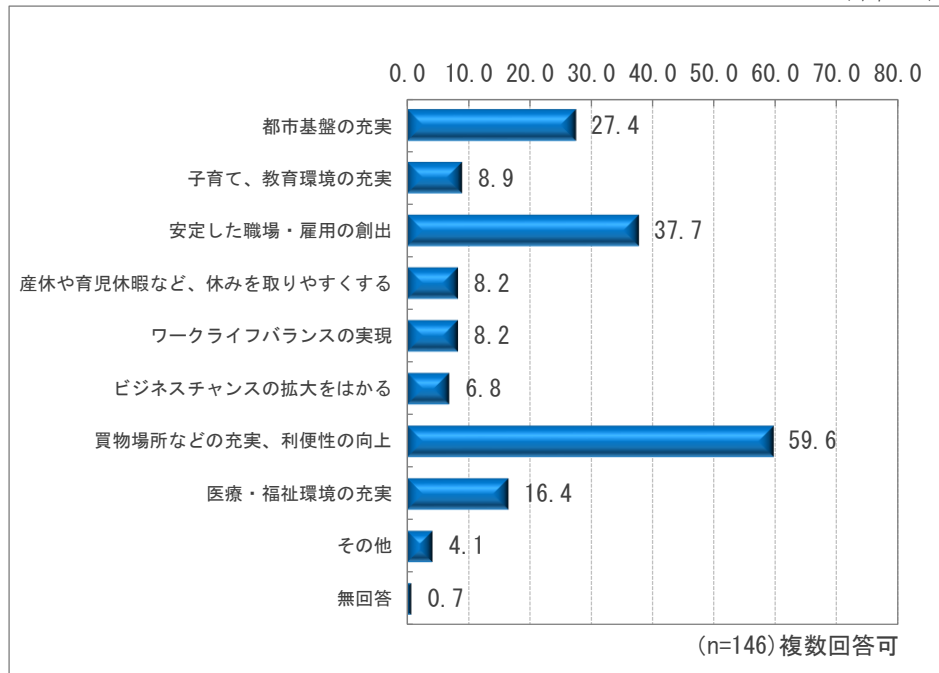


湖西市に住みたくない理由では、「別の場所・環境で暮らしてみたい」と回答された方の割合が36.7%と、最も多くなっています。一方、「道路や交通網が整備されておらず、不便である」「まちに賑わいや活気がなく、魅力を感じない」と回答された方が、ともに3.3%で最も少なくなっています。

その他の回答として、「就職したい会社が近くにないから」「都会の企業に就職したいから」などの回答が見受けられました。

問 10. 湖西市で“住みたい”“働きたい”と思うための取り組み施策について。

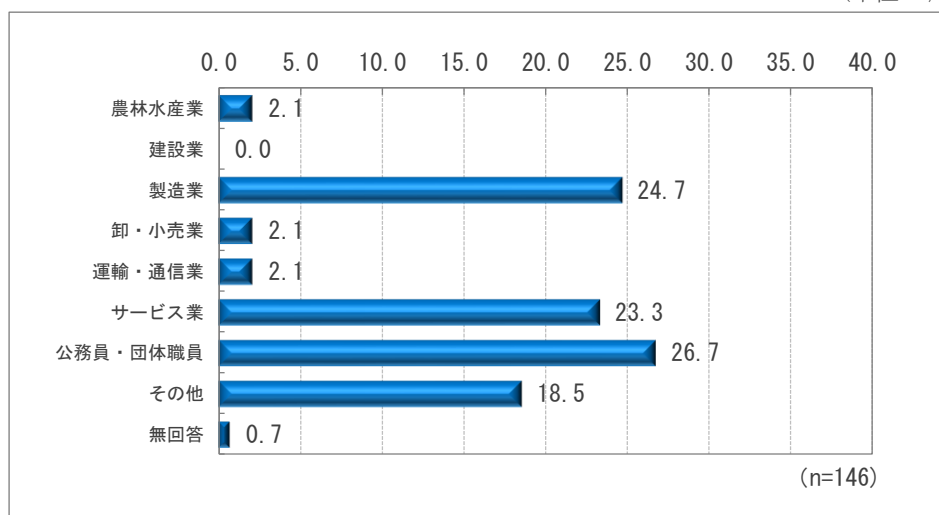
(単位：%)



湖西市で“住みたい”“働きたい”と思うための取り組み施策では、「買物場所やレクリエーション施設の充実、利便性の向上」と回答された方の割合が 59.6%と最も多く、「企業誘致の推進等、安定した職場・雇用の創出」が、37.7%で2番目に多くなっています。

問 11. 将来希望する職種について。

(単位：%)



将来希望する職種では、「公務員・団体職員」「製造業」「サービス業」と回答された方の割合が多くなっています。その他の回答では、「医療・福祉関係」と回答された方の数が比較的多く見受けられました。

3 自由記述

とまとめ作業中

4 調査結果の考察

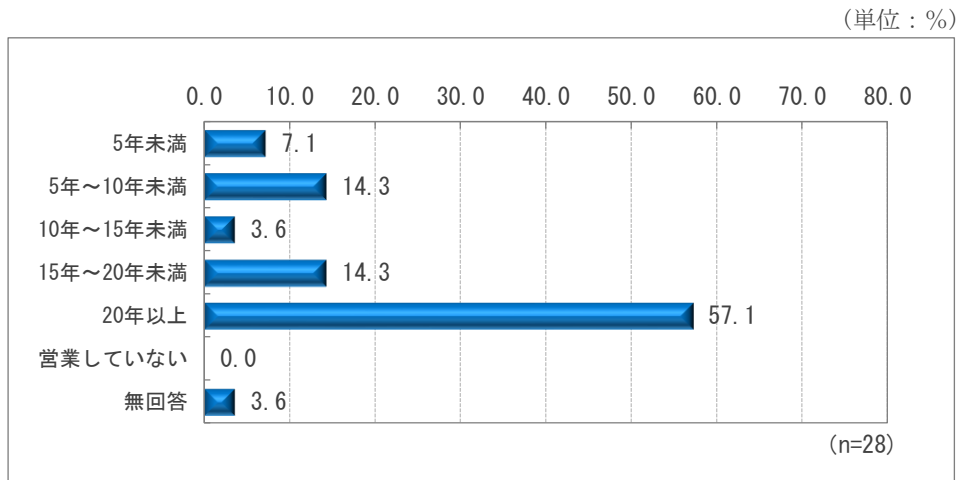
- 大学・専門学校等の卒業後の進路希望では、「市外に住んで、県外で就職したい」と回答された方の割合が最も多く、約45%（約43人）となっており、主に関東地方・中部地方への就職を希望されています。また、その理由としては「市内に就きたいと思う職業がない」と回答された方の割合が約46%（約37人）となっています。（問：5、6）
- 湖西市で“住みたい”“働きたい”と思うための取り組み施策については、「買い物場所などの充実、利便性の向上」「安定した職場・雇用の創出」を望まれる方の割合が多くなっています。（問：10）
- 将来就きたい職種では、「公務員・団体職員」「製造業」「サービス業」の割合が多くなっています。（問：11）
- 以上の状況を踏まえ、湖西市における今後の若者世代の人口減少対策として有効と思われる施策の方向性は、以下のとおり整理されます。
 - I 「製造業」を中心とした産業振興及び「サービス業」を中心とした新たな産業分野の創出。
 - II 商業系市街地の有効利用・再整備などによる新たな“まちの賑わい”の創出。

第3部

不動産に関する調査

1 回答者の属性について

問1. 湖西市内での営業年数について。

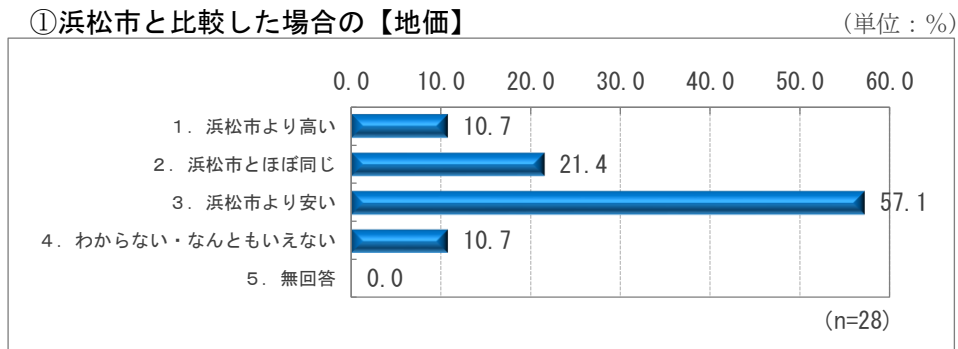


湖西市内での営業年数では、「20年以上」営業されている方の割合が57.1%と最も多く、10年未満の方は21.4%となっています。

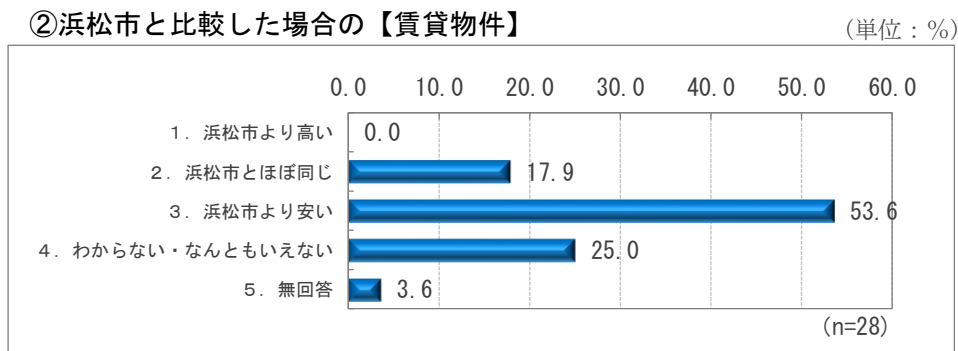
2 湖西市の不動産に関することについて

問2. 湖西市内の土地、建物、賃貸物件等の平均価格について。

①浜松市と比較した場合の【地価】



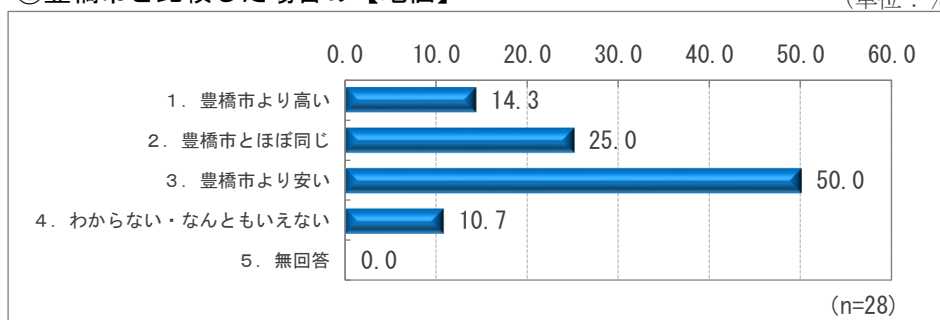
②浜松市と比較した場合の【賃貸物件】



浜松市との比較では、地価・賃貸物件ともに、「浜松市より安い」と回答された方の割合が多くなっています。また、賃貸物件で「浜松市より高い」と回答された方の割合は0.0%でした。

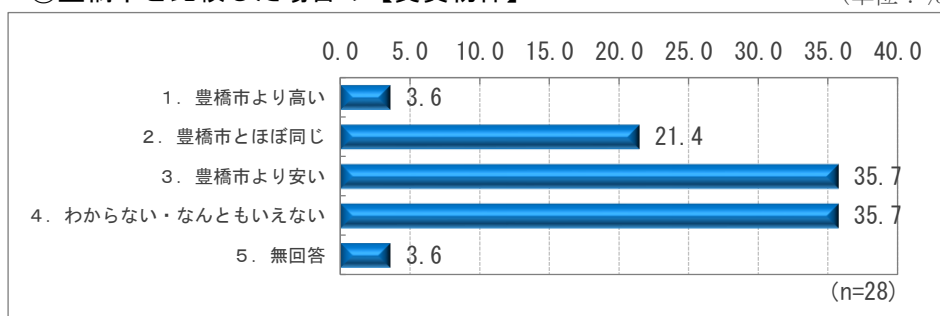
①豊橋市と比較した場合の【地価】

(単位：%)



②豊橋市と比較した場合の【賃貸物件】

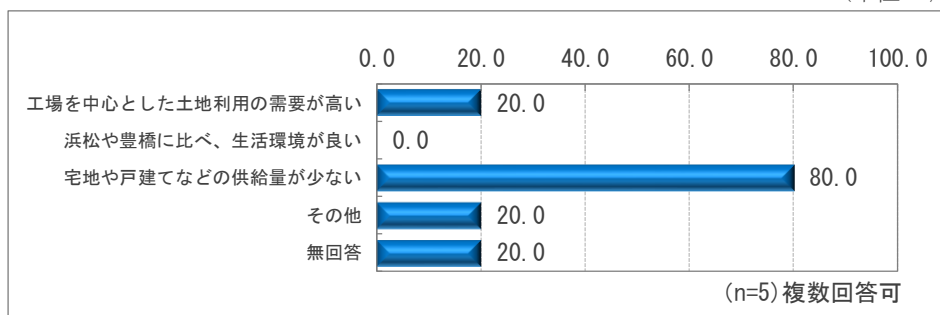
(単位：%)



豊橋市との比較では、地価・賃貸物件ともに、「豊橋市より安い」と回答された方の割合が多くなっています。賃貸物件の比較においては、「わからない・なんともいえない」と回答された方の割合も35.7%と、高くなっています。

問3. 浜松市・豊橋市と比較して地価が高い理由について。(問2の①で1を選んだ方)

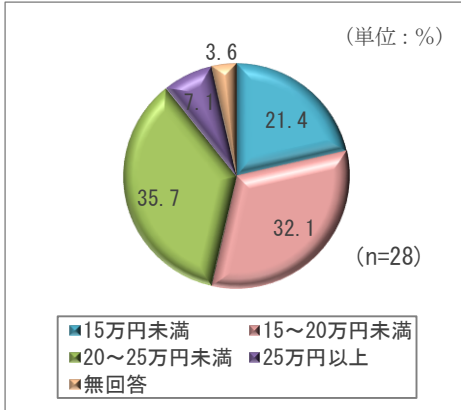
(単位：%)



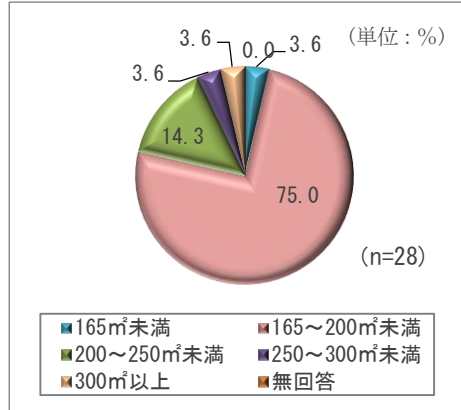
浜松市・豊橋市と比較して地価が高いと思われる理由では、「宅地や戸建てなどの供給量が少ない」と回答された方の割合が多くなっています。

問4. 近年の取引物件の実績について。

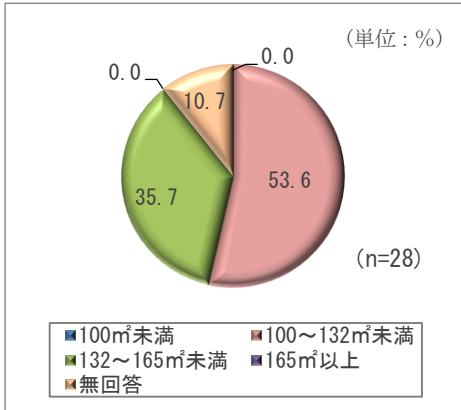
土地の価格帯（坪単価）



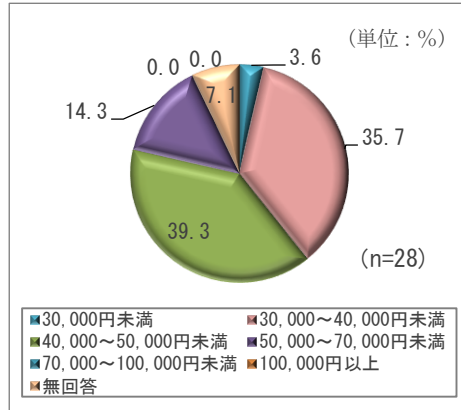
求められる土地の面積帯



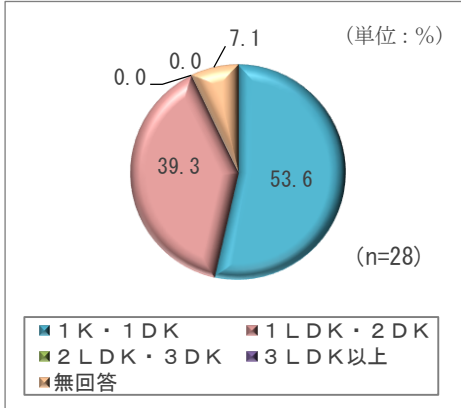
新築戸建ての面積（建物面積）



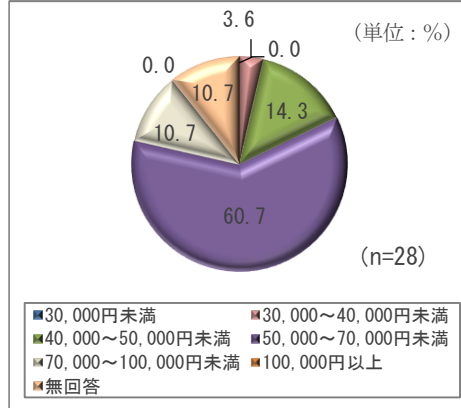
単身者向け賃貸物件の価格帯



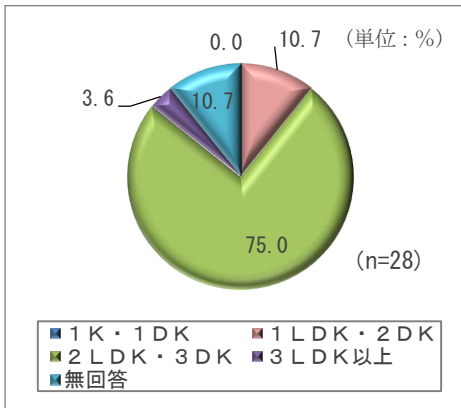
単身者向け賃貸物件の間取り



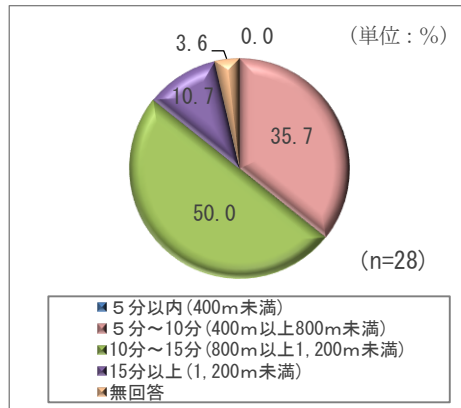
ファミリー向け賃貸物件の価格帯



ファミリー向け賃貸物件の間取り



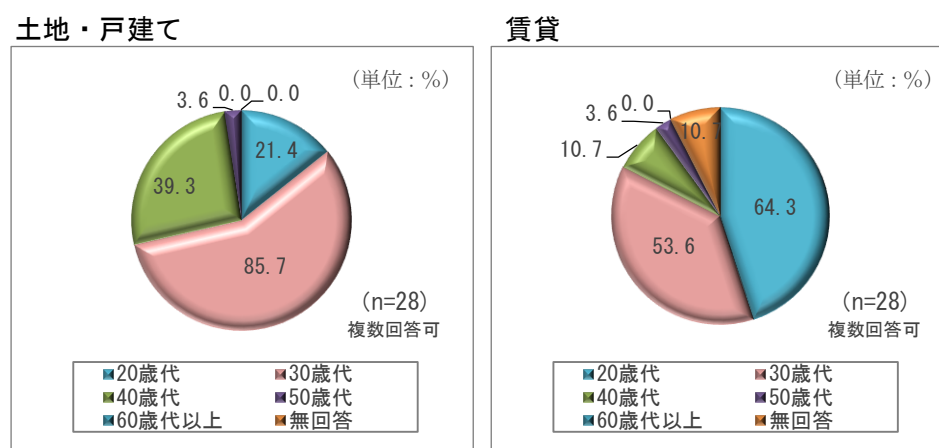
最寄りのJR駅からの距離



以上の調査結果より、最近の取引物件のトレンドを整理すると、概ね以下のとおりとなります。

細 目		トレンド
坪単価		20～25万円未満
土地面積		165～200㎡未満
新築戸建て建物面積		100～132㎡未満
賃貸物件の価格帯	単身者向け	40,000～50,000円未満
	ファミリー向け	50,000～70,000円未満
賃貸物件の間取り	単身者向け	1K・1DK
	ファミリー向け	2LDK・3DK
駅からの距離		10分～15分未満

問5. 近年の不動産物件の購入・借家人の年齢層について。

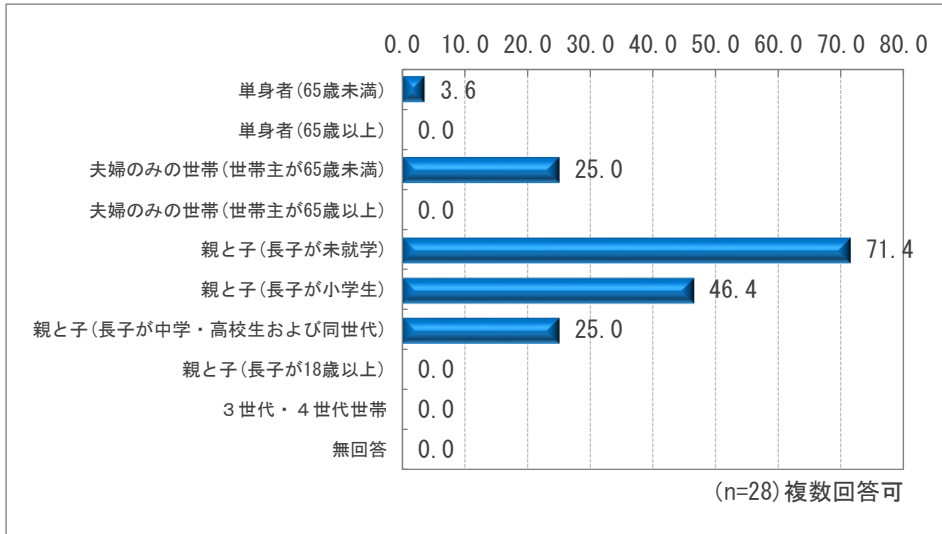


近年の不動産物件の購入・借家人の年齢層の状況をみると、土地・戸建ての購入年齢層では30歳代が最も多く、85.7%となっています。一方、借家賃貸の年齢層では20歳代が最も多い状況となっています。

問6. 不動産物件の購入・借家人の家族構成について。

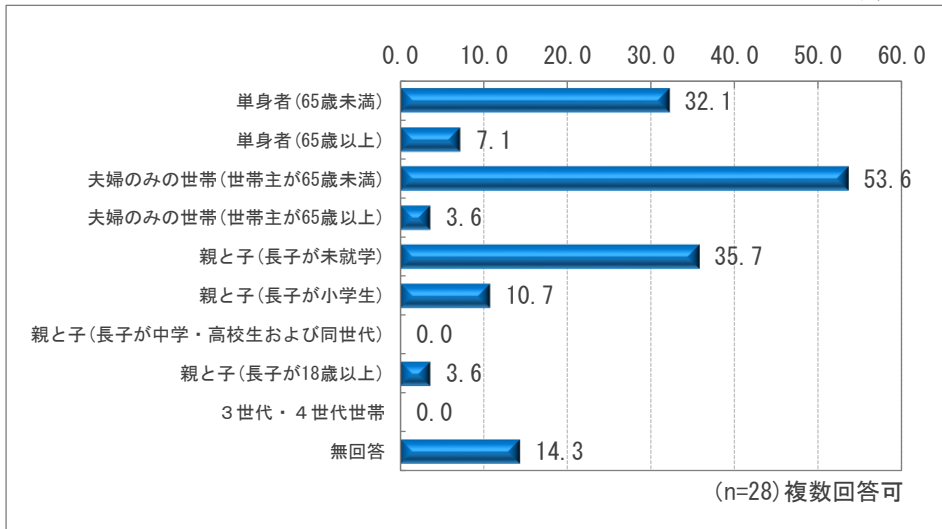
【土地・戸建】

(単位：%)



【賃貸】

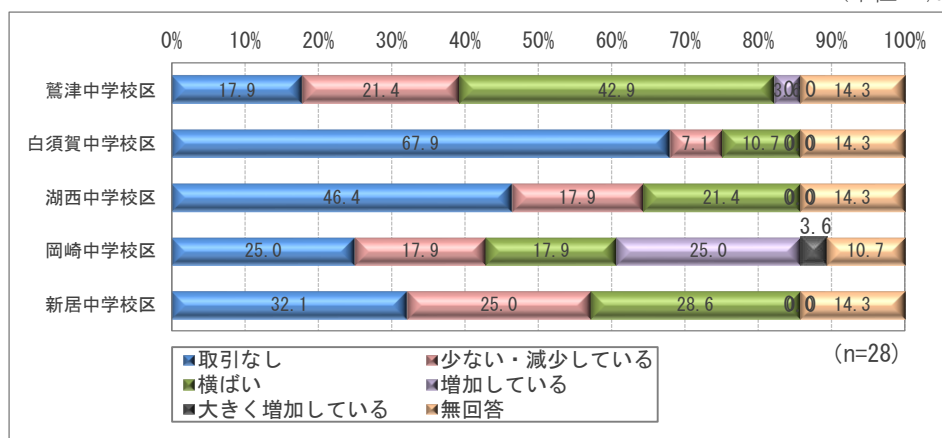
(単位：%)



土地・戸建ての購入者の家族構成では、「親と子（長子が未就学）」が71.4%と最も多く、「親と子（長子が小学生）」が46.4%で2番目に多くなっています。一方、賃貸物件の購入者の家族構成では、「夫婦のみの世帯（世帯主が65歳未満）」が53.6%と最も多く、「親と子（長子が未就学）」が35.7%で2番目に多くなっています。

問7. 湖西市内の取扱物件の最近の取扱量について。

(単位：%)

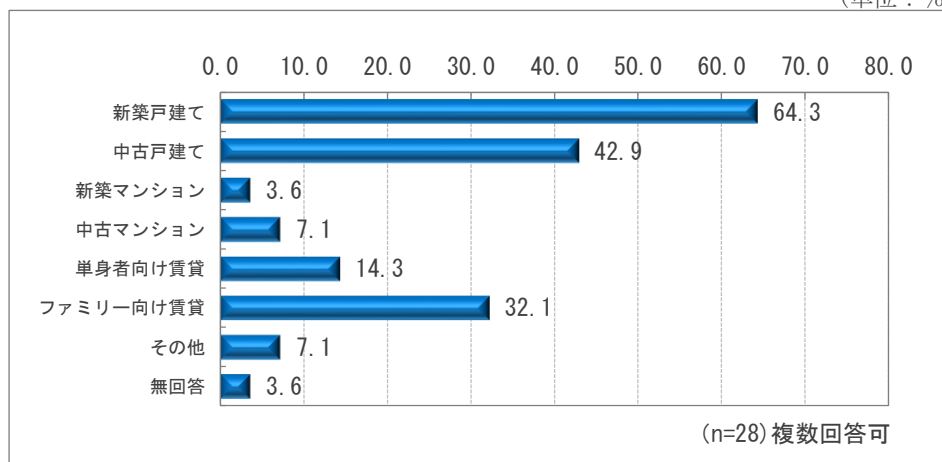


地区別の最近の取扱量では、岡崎中学校区で取扱量が増加しています。一方、「少ない・減少している」地区は、新居中学校区が最も多くなっています。

「取引なし」の最も多い地区は、白須賀中学校区で67.9%となっています。

問8. 最近の不動産ニーズについて。

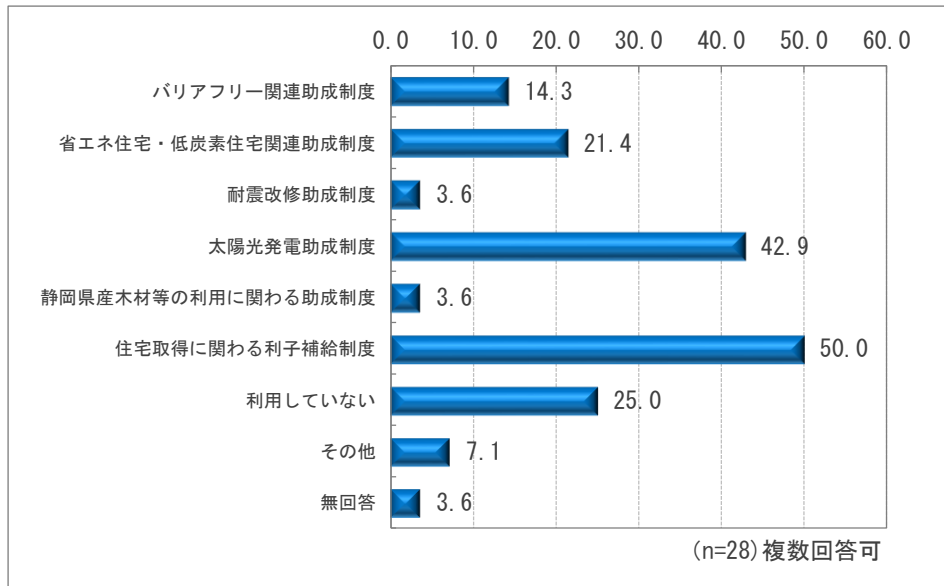
(単位：%)



最近の不動産ニーズでは、戸建てのニーズが多く、「新築戸建て」と「中古戸建て」と回答した方の割合を合計すると、107.2%となっています。一方、マンションのニーズは少なく、「新築マンション」と「中古マンション」と回答した方の割合を合計しても10.7%にとどまっています。賃貸物件では、「ファミリー向け賃貸」と回答した方の割合が32.1%であり、「単身者向け賃貸」と回答した方の割合よりも17.8%多くなっています。

問9. 新築・リフォームを行う際の公的な資金・補助の利用状況について。

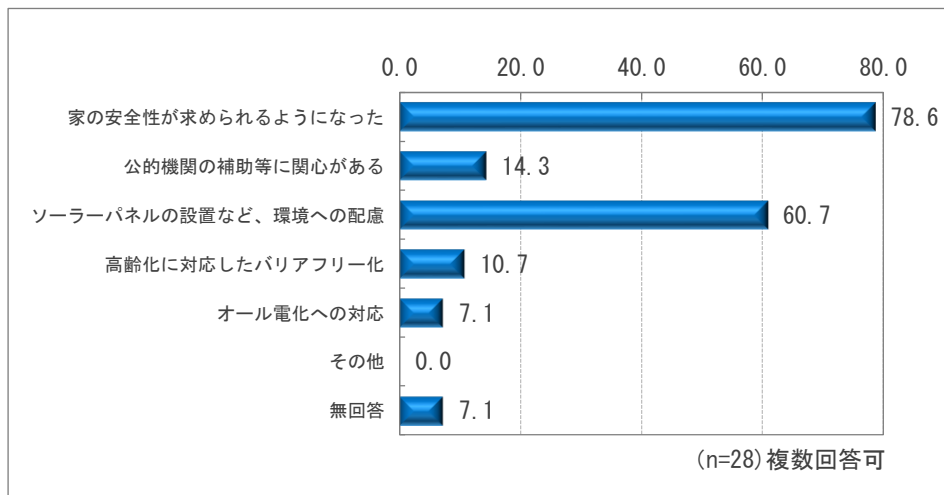
(単位：%)



公的な資金・補助の利用状況では、「住宅取得に関わる利子補給制度」を利用されている方の割合が、50.0%と多くなっています。一方、「耐震改修助成制度」と「静岡県産木材等の利用に関わる助成制度」を利用されている方の割合は、ともに3.6%にとどまっています。

問10. 市民の住宅取得意識の変化について。

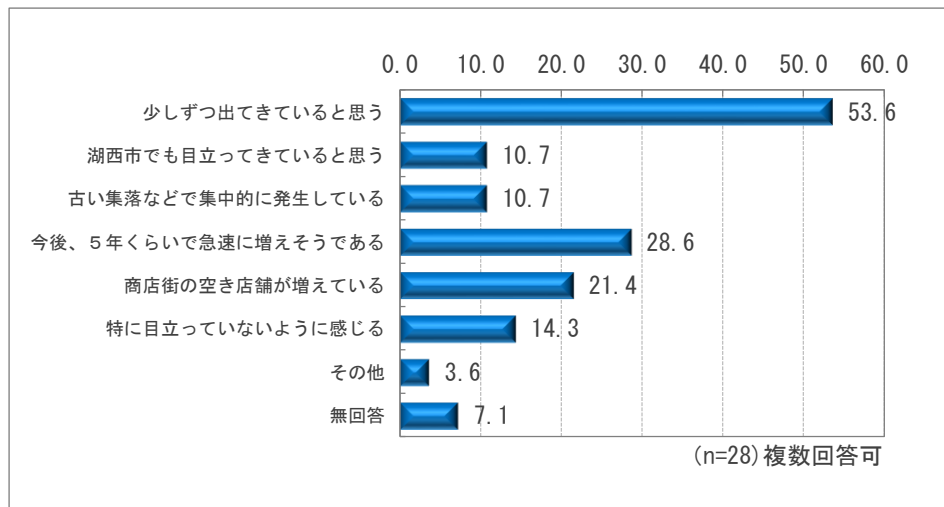
(単位：%)



市民の住宅取得意識の変化では、「地震・津波等に対して、家の安全性が求められるようになった」と回答された方の割合が78.6%と最も多く、「ソーラーパネルの設置など、環境への配慮」と回答された方に割合が60.7%で、2番目に多くなっています。一方、「オール電化への対応」と回答された方の割合は、7.1%と低くなっています。

問 11. 湖西市内の空き家の状況について感じていること。

(単位：%)



湖西市内の空き家の状況に関する感想では、「少しずつ出てきていると思う」と回答された方の割合が 53.6%と最も多く、「今後、5年くらいで急速に増えそうである」と回答された方に割合が 28.6%で、2 番目に多くなっています。

3 自由記述

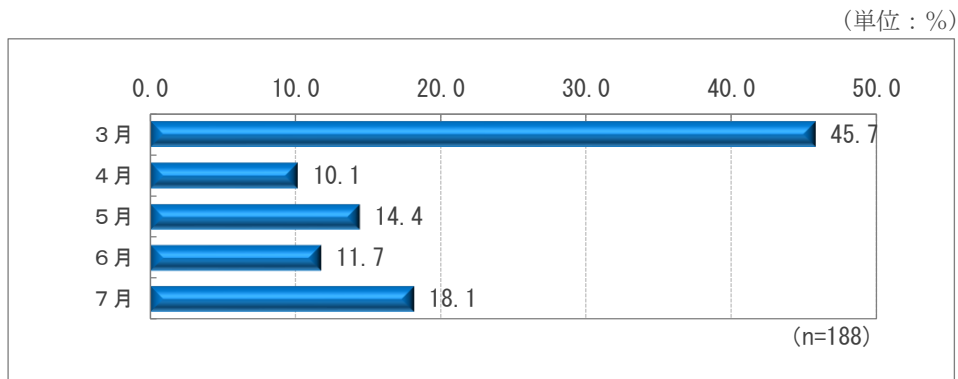
とよまとめ作業中

第4部

転出に関する調査

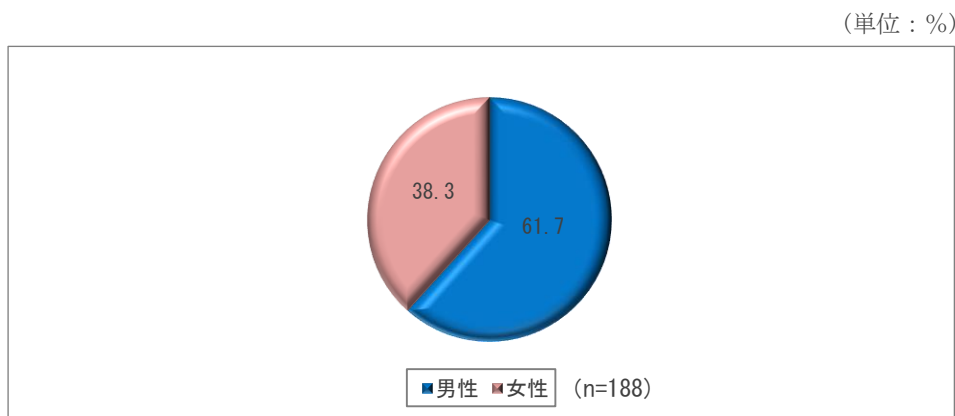
1 回答者の属性について

○ 転出者の転出時期について。



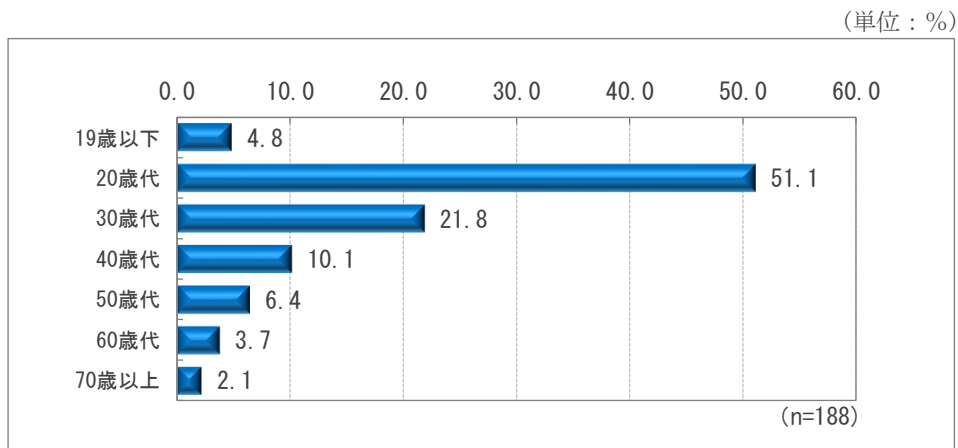
平成27年3月から7月までに転出された方は188人で、そのうち「3月」に転出された方の割合が45.7%と、多くなっています。

問1. あなたの性別について。



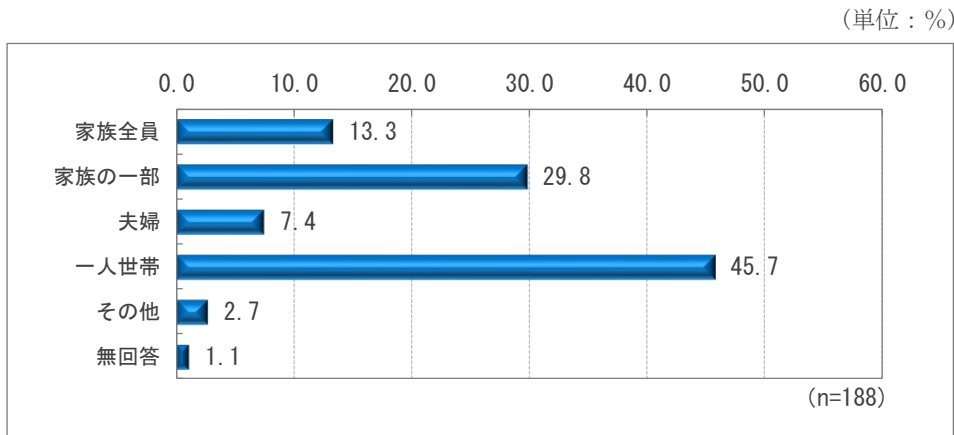
回答者の総数は188人で、性別は男性が61.7%、女性が38.3%となっています。

問2. 転出される方の年齢について。



転出される方の年齢では、「20歳代」が51.1%と、最も多くなっています。

問3. 転出される家族の構成。

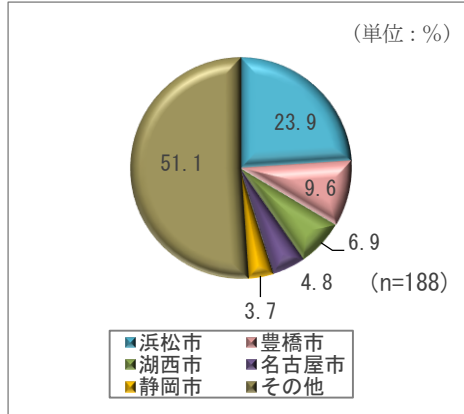


転出される家族の構成では、「一人世帯」が45.7%と最も多く、「家族の一部」が29.8%で2番目に多くなっています。

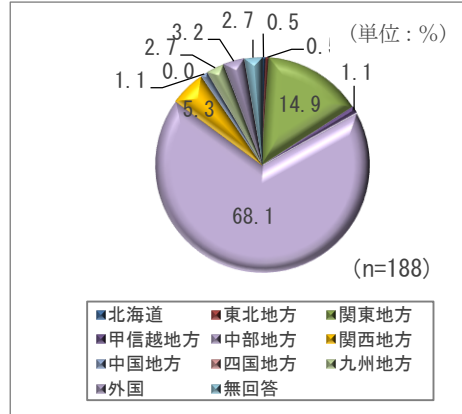
2 転出・転居等について

問4. 転出・転居先。

自治体別転出・転居先 (上位)



地方別転出・転居先

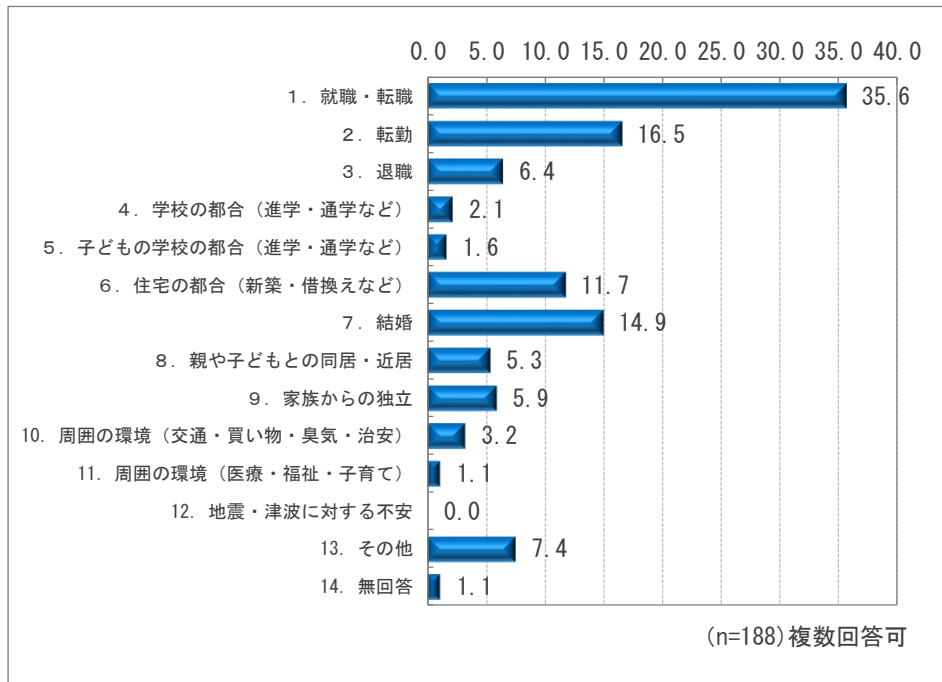


自治体別の転出・転居先では、「浜松市」が23.9%と最も多く、以下「豊橋市」「湖西市」「名古屋市」「静岡市」の順に続いており、比較的周辺自治体への転出・転居が目立っています。

地方別の転出・転居先では、「中部地方」が68.1%と最も多く、「関東地方」が14.9%、「関西地方」が5.3%と続いています。

問5. 転出・転居理由。

(単位：%)

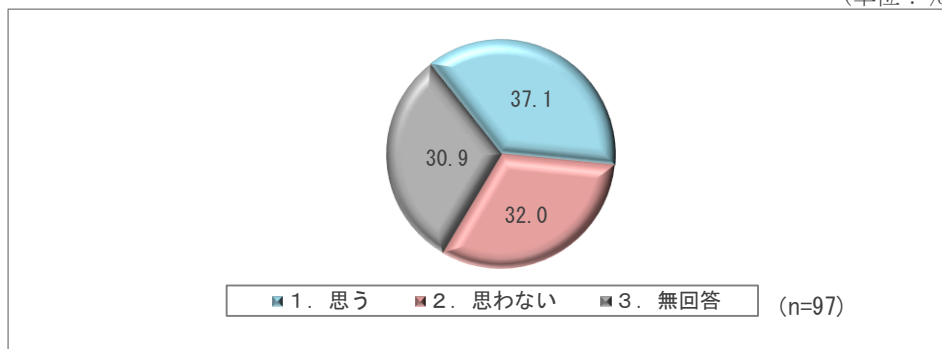


転出・転居される理由としては、「就職・転職」「転勤」によるものが多く、次いで「結婚」を機に転出・転居されるケースが目立っています。

その他の回答では、「実家へ帰る」といった回答が複数回答見受けられました。

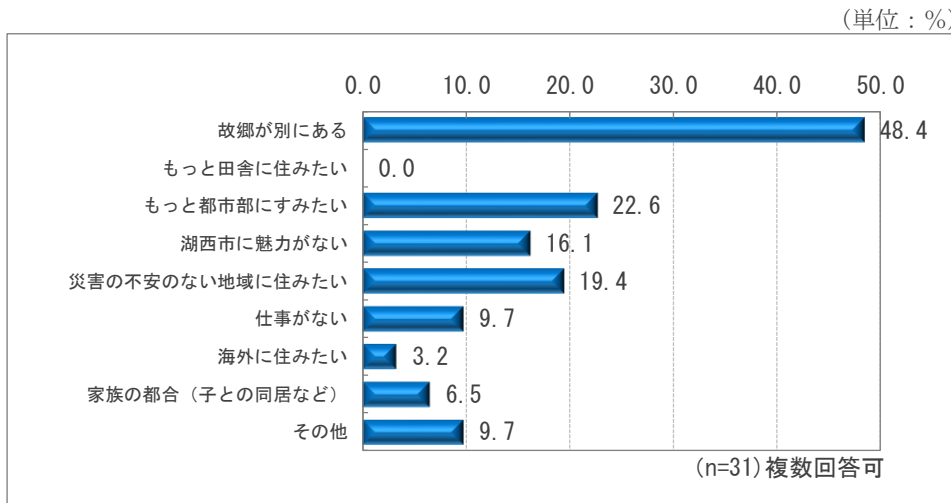
問6. 定年退職後等の湖西市へのUターン移住の希望について。（問5で1または2を選んだ方）

(単位：%)



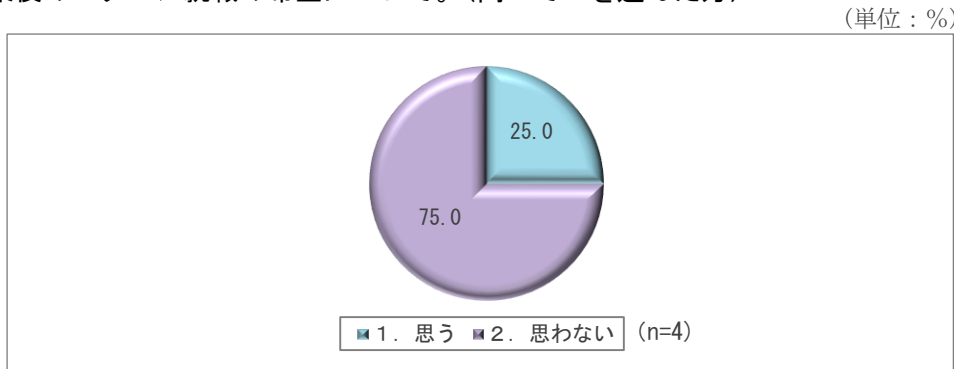
定年退職後等のUターン移住に関する希望では、「戻ってきたいと思う」と回答された方の割合は37.1%で、「戻ってきたいと思わない」と回答された方よりも5.1%多くなっています。

問7. 定年退職後等の湖西市へのUターン移住を希望しない理由。(問6で2を選んだ方)



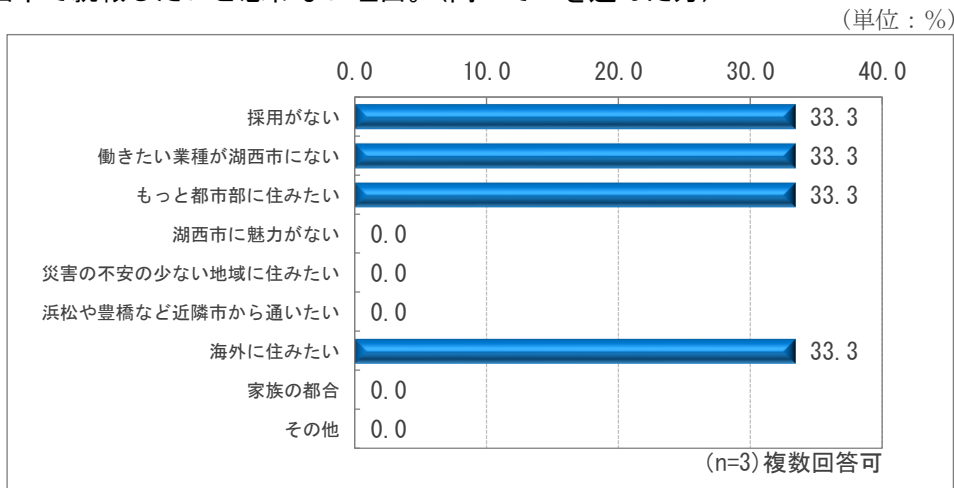
定年退職後等のUターン移住を希望しない理由では、「故郷が別にある」と回答された方の割合が48.4%と、最も多くなっています。次いで、「もっと都市部に住みたい」が22.6%、「災害の不安のない地域に住みたい」が19.4%で続いています。

問8. 卒業後のUターン就職の希望について。(問5で4を選んだ方)



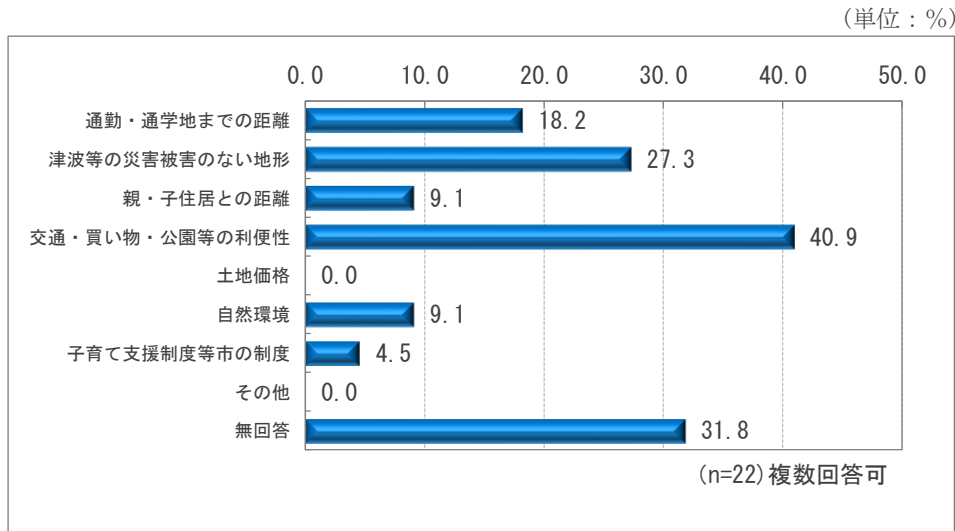
卒業後のUターン就職に関する希望では、「戻ってきたいと思う」と回答された方の割合が25.0%となっています。

問9. 湖西市で就職したいと思わない理由。(問8で2を選んだ方)



就職したいと思わない理由として「採用がない」「働きたい業種が湖西市にない」「もっと都市部に住みたい」「海外に住みたい」といった回答が挙げられています。

問 10. 住宅地を選ぶ際の基準について。(問5で6を選んだ方)



住宅地を選ぶ際の基準では、「交通、買い物、公園等の利便性」と回答された方の割合が 40.9%と最も多く、「津波等の災害被害のない地形」と回答された方の割合が 27.3%で2番目に多くなっています。一方、「土地価格」と回答された方の割合は 0.0%であり、価格よりも住環境を基準として住宅地を選ぶ傾向にあります。

**湖西市「人口ビジョン」
将来展望に関する調査結果中間報告書**

平成27年9月

発行／静岡県湖西市

編集／企画部企画政策課